

RS_Base FAQ一覧

RS_BaseのFAQによく出てくるフォルダ	P6
クライアントのカスタマイズされたファイル、フォルダ	P6
Q1. RS_BaseがVISTA、Windows7のCドライブにインストールできません。	P7
Q2. インストールの方法がわかりません。	P8
Q3. バージョンUPの方法を教えてください。	P8
Q4. バージョンアップのURLを開こうとするとID、パスワードを聞かれます。	P8
Q5. RS_BaseのサーバーをNASにインストールしてもいいですか？	P8
Q6. RS_Baseを使用するにはインターネットに接続しなければいけませんか？	P8
Q7. RS_Base が起動せず、“ページは表示できません”と出ます。	P8
Q8. 昨日まで動作していましたが、今朝起動するとRS_Baseが表示されなくなりました。	P9
Q9. RS_Baseを起動すると「Perl.exe-ディスクがありません」というメッセージが出て動作しなくなります。	P9
Q10. RS_Baseのパソコンをインターネットに接続したいのですが。	P9
Q11. RS_Baseを起動すると「スクリプトによる貼り付け処理の許可」のメッセージがでます。	P9
Q12. RS_Baseが起動せず「Intenal Server Error」とでます。	P10
Q13. RS_Baseを起動すると「x x月になりました。バックアップが待避されました」と出ていつもの画面になりません。	P10
Q14. パソコンを1台追加しましたが、RS_Baseをどのように設定したらいいですか。	P10
Q15. RS_Baseのバックアップ方法を教えてください	P10
Q16. RS_Baseを起動すると、「サーバ名、ドライブ名の設定を間違えている.....」などと出てしまいます。	P11
Q17. ポップアップブロックのメッセージが出ます。	P12
Q18. IE (インターネットエクスプローラーのRS_Base用設定)について教えてください。	P13
Q19. windowsのRS_Base用設定について教えてください。	P17
Q20. RS_Baseを自宅でも見たいのですがどのようにすればいいですか。	P18
Q21. RS_Base の立ち上げが、10-15秒程度かかります。	P18
Q22. ApolloViewでストリームエラーと出てしまいます。	P20
Q23 Window7(Vista) スタンドアローンにて、検査登録ができない。表示が遅い。	P21
Q24. RS_Base を表示するのに3分程度かかります。	P21
Q25. 基本情報を開くのに数分かかります。	P21

RS_Base FAQ一覧

Q26. RS_Receiverについて教えてください。	P21
Q27. RS_Baseを開くと、通常の画面ではなく、違う画面になっています。	P21
Q28. RS_Commを利用したいのですが。	P22
Q29. ダイナミクスと連携するにはどのように設定したらいいですか。	P22
Q30. RS_Base ダイナミクス連携で、RS_Baseがリロードを繰り返します。	P22
Q31. ダイナミクスの血圧データをRS_Baseに一括出力する方法を教えてください。	P23
Q32. 全情報画面について教えてください。	P24
Q33. 画像を開こうとすると赤い×マークが出ます。	P26
Q34. 複数枚の画像のうち1件のみ消したいのですが。	P26
Q35. IDを間違えて登録してしまったので変更したいのですが。	P26
Q36. RS_Baseを起動すると「xxxxが画像保存フォルダにあります。」と出ます。これは何ですか。	P26
Q37. 画像を90度回転させたいのですが。	P27
Q38. 説明画像の登録方法を教えてください。	P28
Q39. 説明画像の登録をしましたが表示されません。	P30
Q40. 時計が表示されません。	P30
Q41. 院外からの画像データをRS_Baseに入れたいのですが。	P30
Q42. 紹介状の画像の貼り付け方法がわかりません。	P30
Q43. Side-Showの病名を消したいのですが。	P31
Q44. 過去の画像と比較はどのようにすればいいですか。	P31
Q45. エコー、内視鏡、心電図等のファイリング方法がわかりません。	P31
Q46. 院内検査の登録が30件しか出ません。	P31
Q47. 患者の登録があるのにRS_Baseの画面では未登録と出ます。	P32
Q48. 患者さんの名前が○になっています。	P32
Q49. 「患者名ヨミ」をクリックしても患者画面にならず、患者名漢字をクリックすると患者画面になります。	P33
Q50. 検査名を追加する方法を教えてください。	P33

RS_Base FAQ一覧

Q.51 異なる検査なのに（抗体、抗体価 判定 など）、検査名が同じ項目のため正しく表示されません。	P34
Q52. 院内の血液データの登録方法を教えてください。	P36
Q53. 血液画面を表示しようとクリックするが画面に表示されません。	P37
Q54. 血液データのIDを間違えて登録してしまったので変更したいのですが。	P37
Q55. 院内での血液検査のデータを修正したいのですが。	P39
Q56. 患者さんの検査データを渡す（CDにコピー）方法を教えてください。	P40
Q57. 血液のグラフ画面が、血液の表示回数を変えても変わりません。	P41
Q58. 血液データをグラフ表示すると×になってしまいます。	P41
Q59. 血液データを印刷するとはみ出してしまいます。（横）	P41
Q60. 血液データ常時表示検査の指定方法を教えてください。	P42
Q61. 血液データを印刷すると2枚になってしまいます。	P43
Q62. 同一の検査なのに、血液データが2重（2行）に表示されてしまいます。	P44
Q63. 体重を毎回手入力していると、見たい血液検査がみえなくなります。	P44
Q64. 血液グラフが、更新されず、同じものが表示されます。	P45
Q65. 心電図ファイルが異常ですと出ます。	P46
Q66. 心電図読み込みフォルダに“削除不能な心電図ファイルがあります。”と表示されます。	P46
Q67. CRを導入しRS_Baseへファイリングしましたが、検査名が英字になります。	P46
Q68. SNAP（顔写真）を撮った患者さんのIDを間違えたので変更したいのですが。	P47
Q69. 様々な案内文章などをRS_Baseで管理することはできますか。	P49
Q70. 所見やサマリを書込はできますか。	P49
Q71. RS_Baseから処方入力はできますか。	P50
Q72. メーリングリストに投稿しましたが配信されません。	P51
Q73. メーリングリストの登録アドレスを変更したいがどのようにしたらいいですか。	P51
Q74. メーリングリストのメールが受信出来なくなりました。	P51
Q75. RS_Baseのメーリングリストは自分には高度すぎてついていけない。みていません。	P51

RS_Base FAQ一覧

Q76. 今まで自分で設定を行ってきたが本当にこれでいいのか、効率的なのか分かりません。	P51
Q77. 本年の画像データベースの障害時の対応（例 2011年）	P52
Q78. フジ内視鏡-FTP送信について	P55
Q79. PENTAXの内視鏡について	P56
Q80. 命日表示、備忘録などに関して	P57
Q81. 内視鏡、超音波の読み込み検査名の変更方法	P57
Q82. トップ画面の検査が20件しか表示されない	P58
Q83. 体重の変化がグラフにてわかりにくいので、もう少し差が出るように表示したい。	P58
Q84. ダイナミクスの血圧をRS_Baseでグラフ表示する方法について	P59
Q85. 血液データを検索する方法を教えてください。	P60
Q86. ダイナミクス用の【写真付薬情】の設定方法について	P62
Q87. タブレット端末でのRS_Baseの使用方法について	P65
Q88. RS_Baseの各検査項目登録数の表示方法について	P69
Q89. ダイナミクスとの連携について	P70
Q90. 当院検診作成の方法について	P74
Q91. レントゲン、RS_Commなどの取り込みについて	P77
Q92. RS_Baseのバックアップ、バージョンアップについて	P78
Q93. 二つの臨床検査センターからのデータを読み込む方法	P79
Q94. 血液データを異なる系列のデータとして保存する方法	P82
Q95. RS_Base用カスタマイズmdbの変更点について（2012年時）	P82
Q96. サーバーIPで心電図やDicom Viewerを表示させる方法	P83
Q.97 RS_Baseとダイナミクスを使用していると、ダイナミクスに連動して、RS_Baseの画面が変わるときに、ダイナミクスからRS_Baseにカーソルが移動（とられる）することがあります。	P84

【 RS_BaseのQ&Aによく出てくるフォルダ 】

alert	RS_Base 注意書き
backup	月初め&日ごと バックアップ
board	説明画像、検査別説明画像など
data	検査データベース保存フォルダ1 【重要フォルダ】
ecg	各社心電図ファイル 【重要フォルダ】
ID-IP	サーバーIPアクセス時の、クライアントIPごとの設定情報
Imfidx xxxx	RS_Base の画像データ群 【重要フォルダ】
karte_ill	他システムから読み込んだ、病名
kojin_file	患者スナップ、RSBサマリ(sm0-sm9)
labo	血液データ 【重要フォルダ】
labo_o	検査センターからの血液オリジナルデータ
labo_year	血液検索用データ
laboout	院外血液自動バックアップデータ
refkera	眼科用レフケラデータ
RS_Comm	RS_Comm 処理フォルダ
sedai_back	画像データベース 時間毎バックアップ【クライアント毎】
set_file	表示位置等、各種セットファイル群【クライアント毎】
shoken	所見内容のデータ
sindan	検査別診断リスト
sinryo	RSB診療用のフル診療内容データ
sketch	RSBにてのスケッチ画像データ
summary	他システムからの患者サマリーデータ
uketsuke	BOX受付 受診患者リスト
yaku_file	薬歴表示、グラフ化用 処方内容データ
yaku_file2	ダイナミクスからのside_show用薬歴データ
yakureki	薬歴グラフ表示 薬剤名リスト
year_backup	年初の画像系データベースバックアップ

※この名前をRS_Baseで使用されるパソコン名などには使用しないようにしてください。

【クライアントのカスタマイズされたファイル、フォルダ】

《 ファイル 》

init.dat
custum.dat
software

《 フォルダ 》

set_file
board¥gif14
ID-IP

Q1 RS_BaseがVISTA、Windows7のCドライブにインストールできません。

■RS_BaseがVISTA、Windows7のCドライブにインストールする方法

[window7]はもともと、[c:¥ユーザー]というフォルダが存在し、内部的にはこのフォルダは[c:¥Users]という名前です。

この[c:¥Users]フォルダは、RS_Baseのプログラムが入るフォルダで、window7(Vista)では、Usersフォルダのセキュリティーで書き込みが禁止になっています。

[window7]の[Cドライブ]でRS_Baseを動作させるには、DVD あるいは他のコンピュータから、

- ① c:¥apache (web サーバソフト)
- ② c:¥usr (perl というプログラム言語)
- ③ c:¥Users¥rsn¥public_html

をコピーする必要があります。

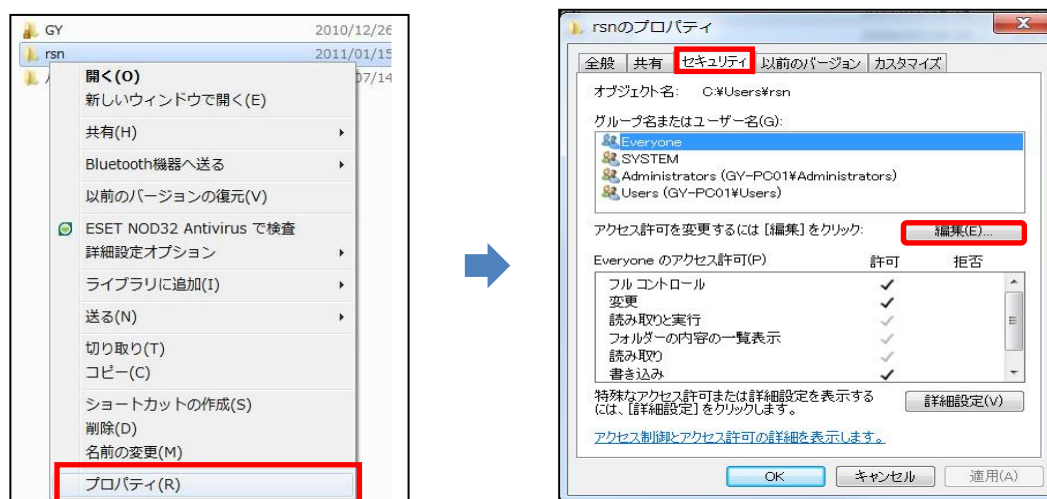
※ただし③の場合、

[C:¥ユーザー]フォルダを開いて、手動で [rsn] フォルダを作成します。

作成された、[c:¥ユーザー¥rsn (C:¥Users¥rsn)]のフォルダを右クリックし[プロパティ]→[セキュリティタブ]→[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧の「Everyone」を選択→[編集]で全てにチェックを入れてください。

全てにチェックを入れた後は[フルコントロール]、[変更]、[書き込み]などにチェックが入ります。

「Everone」が[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧にない場合には、[編集]をクリックした画面の[追加ボタン]にて「Everyone」を作成してください。



その後、[public_html] フォルダを [c:¥Users¥rsn] 内にコピーし、[c:¥Users¥rsn¥public_html]とします。

以上、RS_Baseの3つの必要フォルダをコピーした後、

- ④ [c:¥apache¥apache.exe] を立ち上げる。
- ⑤ [http://localhost/~rsn/2000.cgi]を立ち上げる。

④、⑤でRS_Baseが立ち上がりますので、必要に応じて基本情報の設定apache 2000.cgi gazou フォルダのショートカットを作成してください。

Q2 インストールの方法がわかりません。

<http://www.rsbase.net/RSB/sample/install.pdf> を参照してください。

Q3 バージョンUPの方法を教えてください。

バージョンアップファイルをダウンロード・解凍し、それらのファイルをRS_Baseがインストールされたドライブの、[¥rsn¥public_html] に上書きすると”上書きしますか？”のメッセージが出ますので、そのまま上書きするとバージョンアップが完了します。

※必ず「上書きしますか」のメッセージが表示されます。表示されない場合は違うフォルダにコピーされているためバージョンUPされていないことになります。

※バージョンUPの確認はRS_Baseの初期画面の下部に下記のように表示されます。

RS_Base ver20111201 Script(C) written by G. Y.

Q4 バージョンアップのURLを開こうとするとID、パスワードを聞かれます。

メーリングリストの★各種リンク★に、RS_BaseバージョンアップのID、パスワード の記載があります。

Q5 RS_BaseのサーバーをNASにインストールしてもいいですか？

NASをネットワークドライブに指定すると、スピードが遅く、動作がおかしくなる場合がありますので、なるべく使用しないでください。

Q6 RS_Baseを使用するにはインターネットに接続しなければいけませんか？

RS_Baseを使用する時はインターネットへの接続は必要ありません。
バージョンアップの際には、インターネットに接続されている別のパソコンでダウンロード後コピーしていただくこととなります。

Q7 RS_Base が起動せず、“ページは表示できません”と出ます。

■RS_Baseを使用するパソコンで Apache が立ち上がっていない可能性があります。



※Apacheを立ち上げてからRS_Baseを開いてみてください。

■表示させようとしている、URLが間違っている可能性があります。
RS_Baseの初期表示のURLは <http://localhost/~rsn/2000.cgi> となります。

Q8 昨日まで動作していましたが、今朝起動するとRS_Baseが表示されなくなりました。

■Apache が立ち上がっていない可能性があります。



※Apacheを立ち上げてからRS_Baseを開いてみてください。

■ネットワークがつながっていない可能性があります。

Q9 RS_Baseを起動すると「Perl.exe-ディスクがありません」というメッセージが出て動作しなくなります。

「Perl.exe-ディスクがありません、EドライブにDVDドライブを挿入してください」というメッセージが出た場合を例に以下の事項をお試しください。

- (1) 一旦、RS_Base および Apache を閉じてください。
- (2) デバイスマネージャーを開いて、当該DVDドライブを無効としてください。
- (3) これで、ApacheとRS_Baseを立ち上げ、基本情報画面に入って、エラーが出ないことを確認してください。
- (4) 再度、デバイスマネージャーを開いて、当該DVDドライブを有効としてください。
- (5) この状態で、基本情報画面に入っても、エラーが出ないことを再度確認してください。

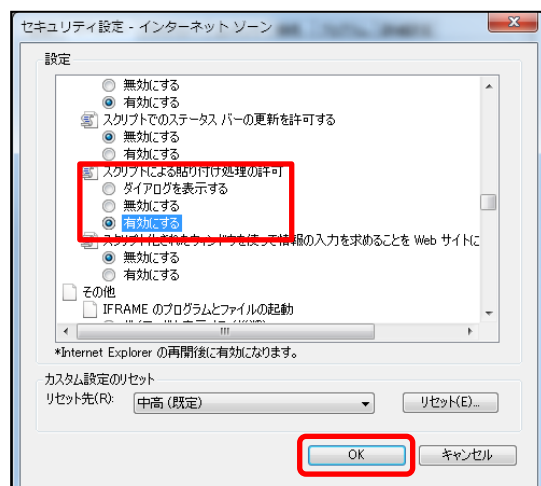
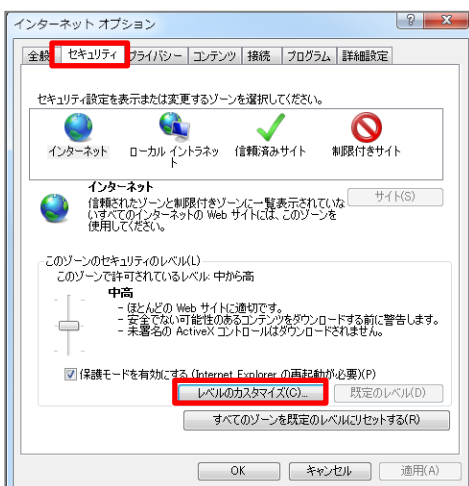
※この方法で、「Perl.exe-ディスクがありません」の状況が、すべてのPCで改善するかどうかはわかりません。

Q10 RS_Baseのパソコンをインターネットに接続したいのですが。

インターネットに接続する場合は、セキュリティーに注意し接続するようにしてください。RS_Baseをご利用にあたりインターネットに繋がっていないと利用出来ないということはありません。

Q11 RS_Baseを起動すると「スクリプトによる貼り付け処理の許可」のメッセージがでます。

IE(インターネットエクスプローラー)の、[ツール]→[インターネットオプション]→[セキュリティ]→[レベルのカスタマイズ]を開き、「スクリプトの貼り付け処理の許可」を“有効にする”に設定してください。



Q12 RS_Baseが起動せず「Intenal Server Error」とです。

- RS_Baseのプログラムファイルが壊れている可能性があります。再度バージョンアップファイルを上書きしてみてください。
- usr フォルダ内のファイルが壊れている可能性があります。他のパソコンのusr フォルダをコピーしてみてください。
注:usr フォルダであって、Users ではありません。

Q13 RS_Baseを起動すると「x x月になりました。バックアップが待避されました」と出ていつもの画面になりません。

月初めにRS_Baseのクライアントの設定ファイルなどを自動バックアップした後に表示されるメッセージです。(場所は、クライアントの[public_html¥backup]です。) 検査表示ボタンをクリックすると、通常の動作にもどります。

また、月初めに、

The screenshot shows a web interface with a search bar and various filters. At the bottom, there are two links highlighted in a red box: (1) 2011年の消失ホルダーチェック and (2) 2011年の不要ホルダーチェック.

のリンクが出ますので、それぞれをクリックしてRS_Baseのデータの状況を確認してください。一度クリックすると、翌月までは表示されません。

Q14 パソコンを1台追加しましたが、RS_Baseをどのように設定したらいいですか。

- RS_BaseをDVDなどからインストールをして、バージョンアップを行ってください。
その後、他のクライアントの[Users¥rsn¥public_html¥init.dat]を、新たにインストールしたRS_Baseの[Users¥rsn¥public_html¥init.dat]に上書きコピーすると、設定がスムーズにできます。
- DVDからインストールを行い、他のクライアントの[Users¥rsnフォルダ]をコピーするという方法もあります。
windows7(Vista) の場合は、Q1も参照してください。

Q15 RS_Baseのバックアップ方法を教えてください。

RS_Baseのデータは、RS_Baseのサーバーの[Users¥rsn¥public_html]の中にすべて入っていますので、このフォルダをバックアップしますが、ファイル数、サイズともに巨大なので、バックアップは、Realsync などを使って、更新のあったデータのみ差分バックアップを行ってください。

なお、外付けHDなどをバックアップに利用する場合は、HDのフォーマットの初期が[FAT32]になっている場合は、NTFSのフォーマットに変更してご使用いただいた方が高速で安全です。

- 基本情報の指定を間違えている。
- 共有ドライブ名を間違えている。
- ドライブの共有自体が正しくされていない。
- IPアドレスの指定が正しくされていない。
- ネットワークが正しく接続されていない。

など、クライアントからサーバーにアクセスできない状態が考えられます。以下の基本情報の設定をご確認ください。

例) RS_Baseを**1台のパソコン**で利用する場合の基本情報設定例

- ・RS_BaseをCドライブにインストール (Q1 も参照)

(10) LAN(ON,OFF)(OFFであれば、(1)のみ設定必要) <input type="checkbox"/> off	ネットワーク上の本PCの名前 <input type="text"/>
注) RS_BaseでアクセスするHDDドライブはすべて共有設定でフルアクセスにしてください(LAN on時)。	
(11) データファイルを置くPC(サーバー)の設定	
本PCがサーバ(データファイルを置くPC)であれば、以下も同様に本PCに関する設定となります。	
(12) データを保存するPCのネットワーク上の名前 <input type="text"/>	
(13) RS_Baseをインストールしてあるドライブのネットワーク上の名前 C	(1)
(14) データを保存するPCのIP Address: localhost	<input type="text"/>

(10)LAN (ON、OFF) off

(12)データを保存するPCのネットワーク上の名前 空白

(13)RS_Baseをインストールしてあるドライブのネットワーク上の名前 C

(14)データを保存するPCのIP Address localhost

例) RS_Baseを**複数のパソコン**で利用する場合の基本情報設定例

- ・RS_Base(クライアント)をCドライブにインストール
- ・RS_Baseのデータを保存するパソコン(サーバ)のパソコン名 RServer
- ・RS_Baseのデータを保存するパソコン(サーバ)の共有名(ドライブ) D
- ※サーバでRS_Baseをインストールしたドライブをドライブ毎共有しドライブ名を共有名に設定してください。
- ・RS_Baseのデータを保存するパソコン(サーバ)のIPアドレス 192.168.1.100

(10) LAN(ON,OFF)(OFFであれば、(1)のみ設定必要) <input checked="" type="checkbox"/> on	ネットワーク上の本PCの名前 <input type="text"/>
注) RS_BaseでアクセスするHDDドライブはすべて共有設定でフルアクセスにしてください(LAN on時)。	
(11) データファイルを置くPC(サーバー)の設定	
本PCがサーバ(データファイルを置くPC)であれば、以下も同様に本PCに関する設定となります。	
(12) データを保存するPCのネットワーク上の名前 RServer	<input type="text"/>
(13) RS_Baseをインストールしてあるドライブのネットワーク上の名前 D	(1)
(14) データを保存するPCのIP Address: 192.168.1.100	<input type="text"/>

(10)LAN (ON、OFF) on

(12)データを保存するPCのネットワーク上の名前 RServer

(13)RS_Baseをインストールしてあるドライブのネットワーク上の名前 D

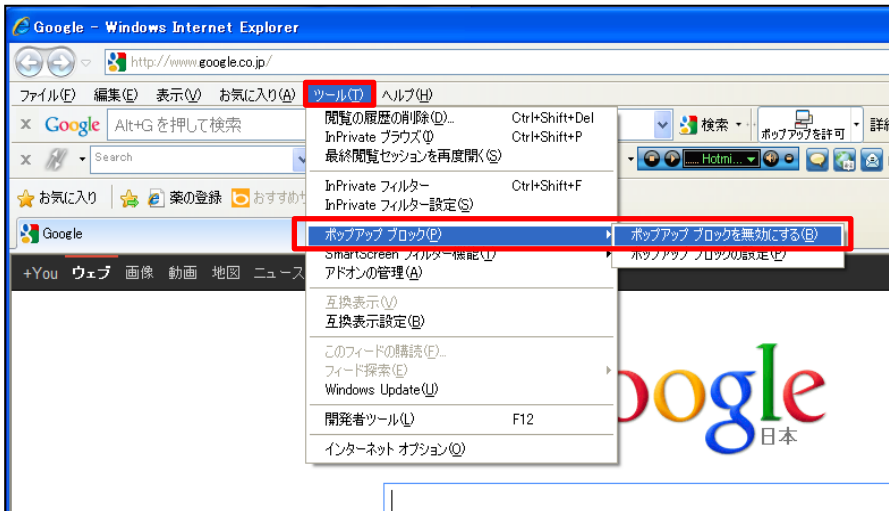
(14)データを保存するPCのIP Address 192.168.1.100

Q17 ポップアップブロックのメッセージが出ます。

RS_Baseを使用するための、IE(インターネットエクスプローラー)の各種設定にて、ポップアップブロックが無効になっていない可能性があります。

[ツール]→[ポップアップブロック]→[ポップアップブロックを無効にする]を選択してください。

その他、Google Tool Bar にも、ポップアップブロックメニューがあります。

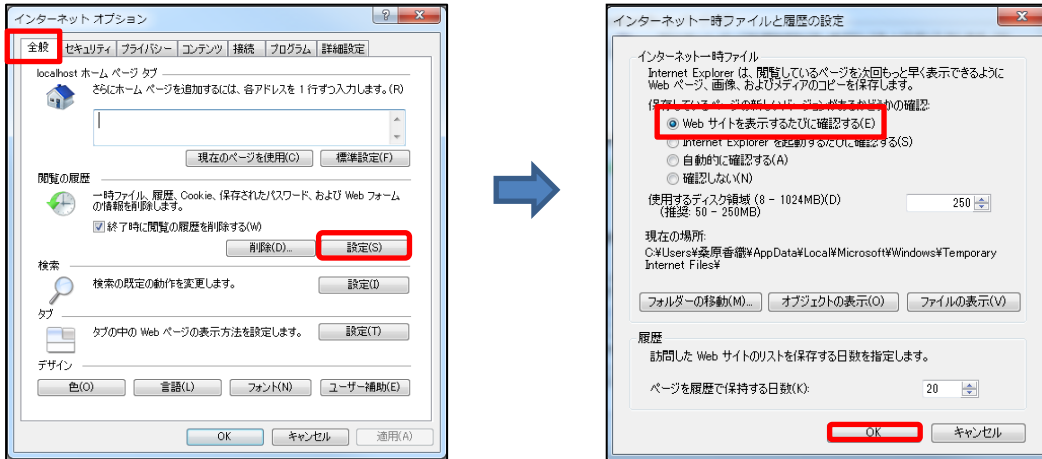


Q18 IE (インターネットエクスプローラーのRS_Base用設定)について教えてください。

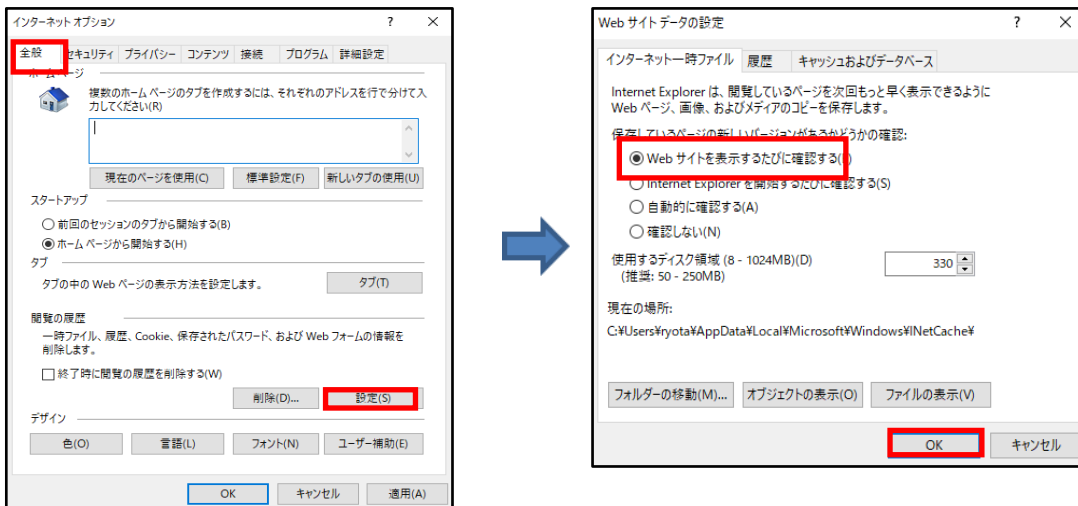
RS_Base用【IE6、IE8、IE9、IE10、IE11の設定】

- IE6 [ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[インターネット一時ファイル 内の設定]で、「ページを表示するごとに確認する」にチェックを入れてください。

IE8、IE9、IE10 [ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[閲覧履歴の設定] で、「Webサイトを表示するたびに確認する」にチェックを入れてください。



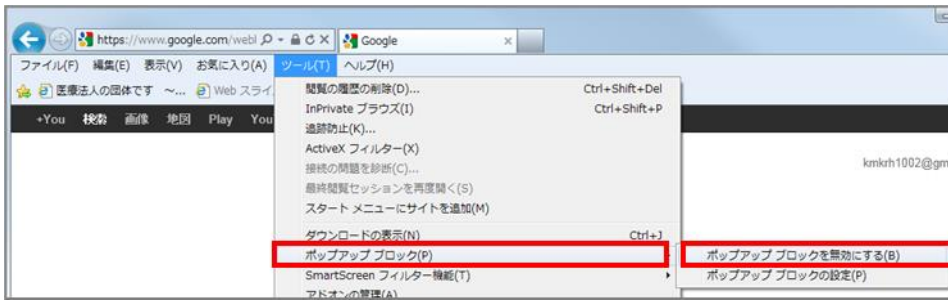
- IE11[ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[閲覧履歴の設定] で、「Webサイトを表示するたびに確認する」にチェックを入れてください。



- IEの[ファイル]→[ページ設定]で、「ヘッダ」と「フッタ」を空にしてください。左右上下のスペースも、「5mm」などとして、表示範囲を広くしてください。

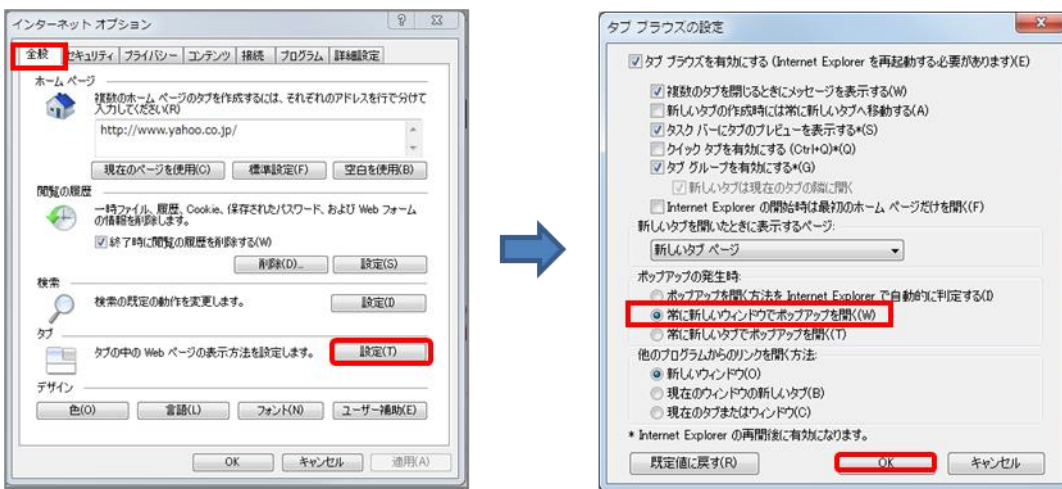
■IEの各種設定でポップアップブロックを無効にしてください。

① [ツール]→[ポップアップブロック]を無効にしてください。

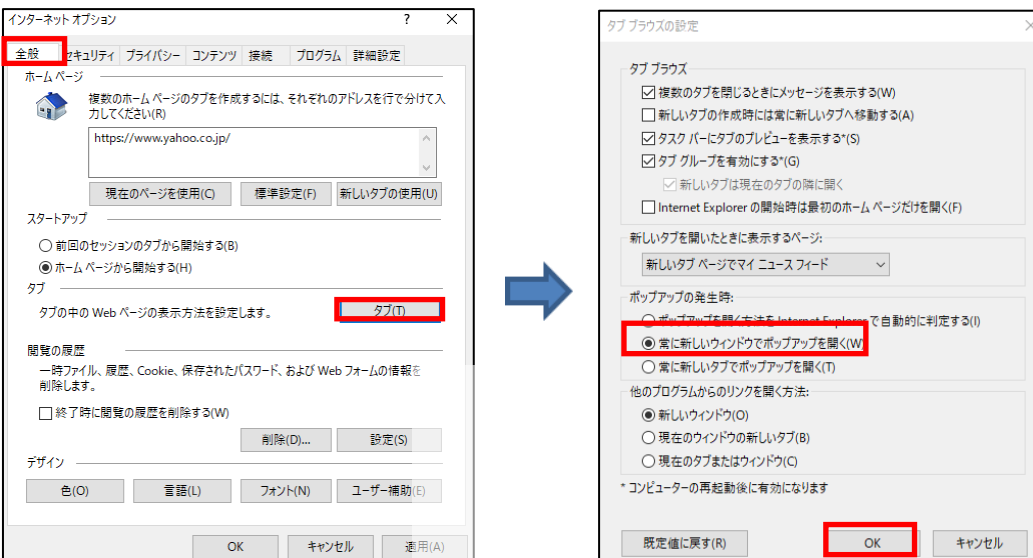


② Google Tool Bar を導入している場合は、ツールバーの設定の、ツール→ポップアップブロッカーのツールをはずしてください。

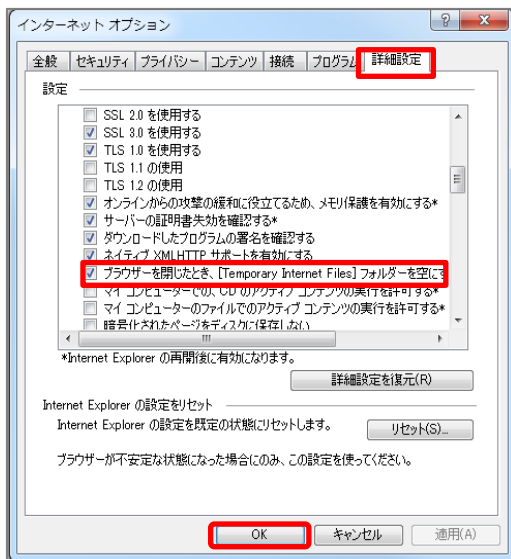
■ IE8、IE9、IE10 [ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[タブの設定]で、「ポップアップ発生時：常に新しいウィンドウでポップアップを開く」にチェックを入れてください。



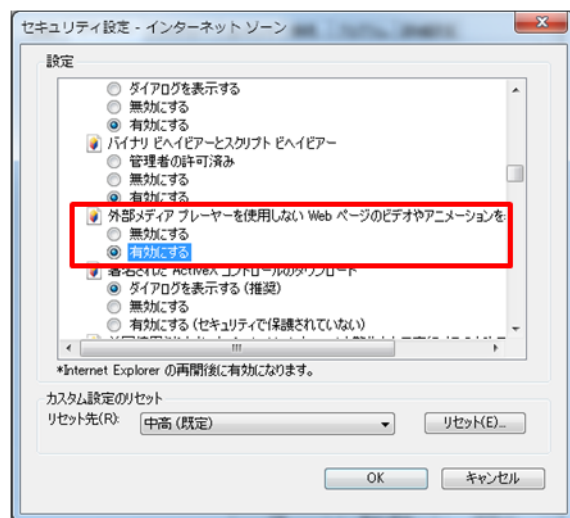
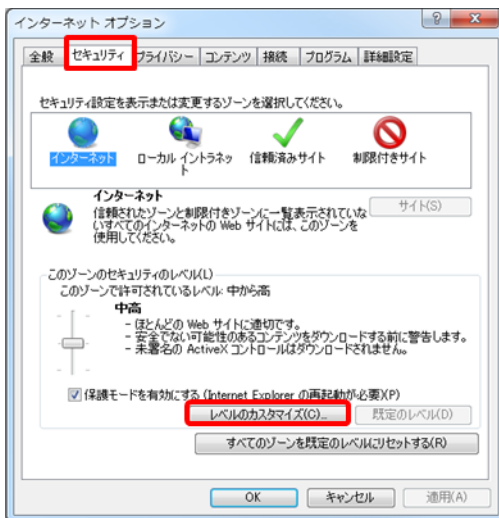
■ IE11 [ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[タブ]で、「ポップアップ発生時：常に新しいウィンドウでポップアップを開く」にチェックを入れてください。



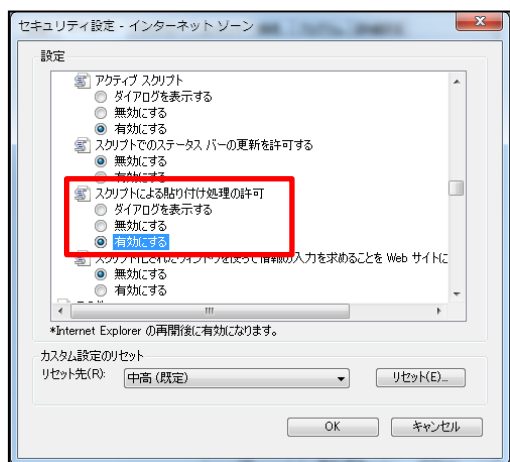
■ IE8、IE9、IE10、IE11 [ツール]→[インターネットオプション]→[詳細設定]→
「ブラウザを閉じたとき、[Temporary Internet Files]フォルダーを空にする」にチェックを入れてください。



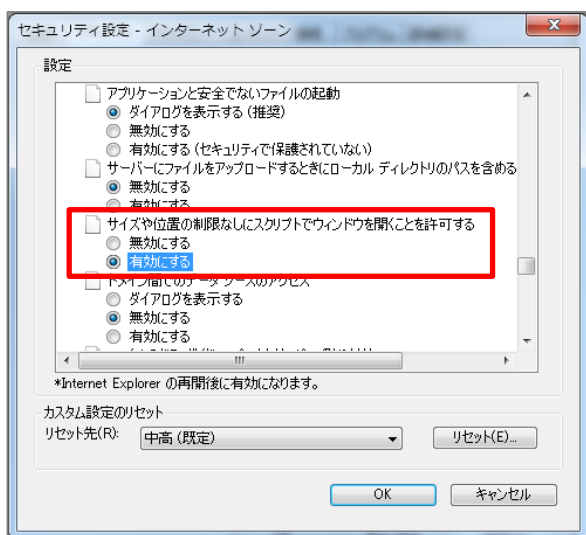
■ IE8、IE9、IE10、IE11[インターネットオプション]→[セキュリティ]→[レベルのカスタマイズ]で、
①「外部メディアプレーヤーを使用しないwebページのビデオやアニメーションを表示する」の「有効にする」にチェックを入れてください。



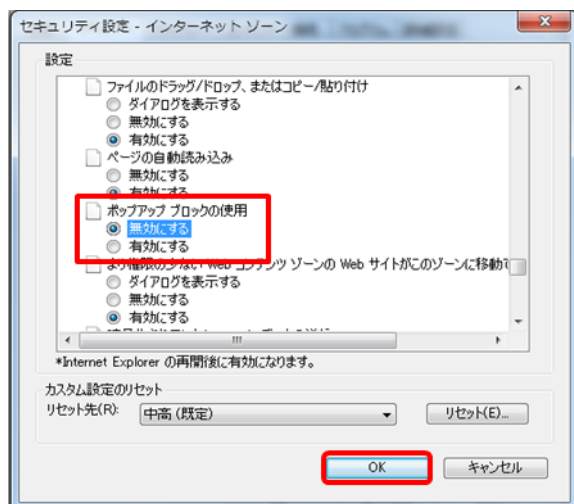
②「スクリプトによる貼り付け処理の許可」の「有効にする」にチェックを入れてください。



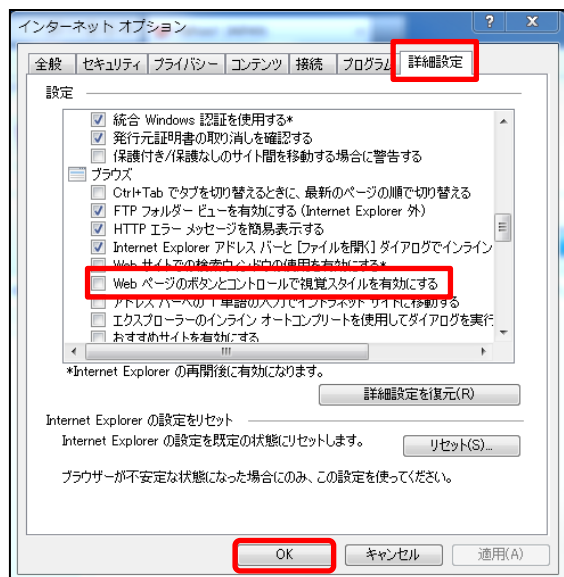
③「サイズや位置の制限なしにスクリプトでウィンドウを開くことを許可する」の「有効にする」にチェックを入れてください。



④「ポップアップブロックの使用」の「無効にする」にチェックを入れてください。

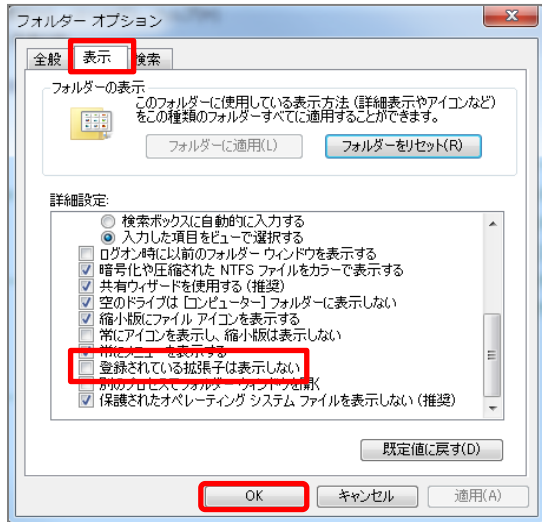


- IE8でJPGのスピードが遅い場合は、IE8[インターネットオプション]→[詳細設定]で、「Webページのボタンとコントロールで視覚スタイルを有効にする」のチェックをはずしてから開いてみてください。

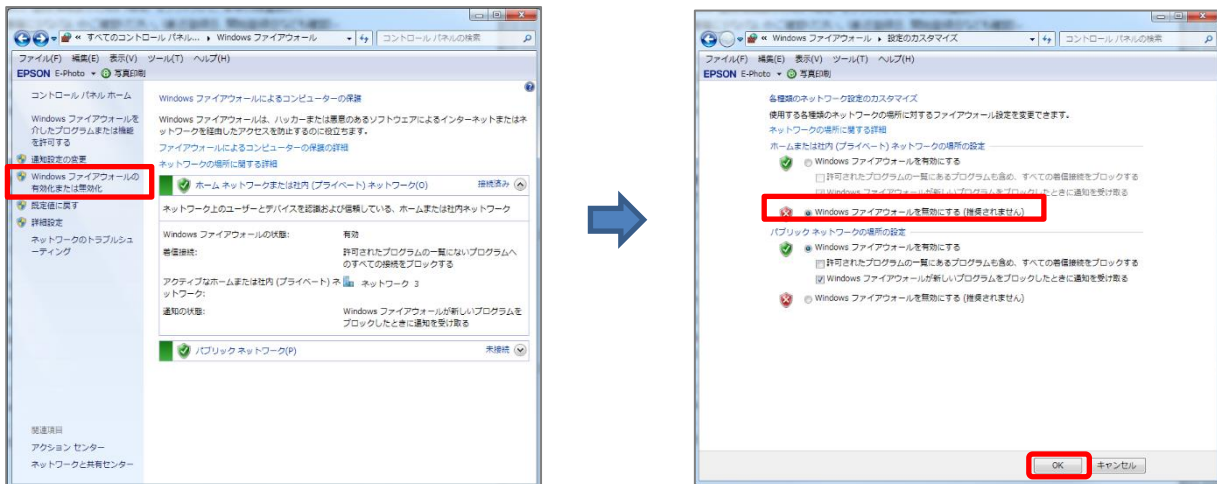


Q19 windowsのRS_Base用設定について教えてください。

- windows の[コントロールパネル]→[フォルダオプション]→[表示]で、「登録されている拡張子は表示しない」のチェックをはずしてください。



- 画像が表示されない場合は、Windows の[コントロールパネル]→[windowsファイアウォールの有効化または無効化]で「Windowsファイアウォールを無効にする」にチェックを入れてください。



Q20 RS_Baseを自宅でも見たいのですがどのようにすればいいですか。

VPNを利用して自宅から閲覧する方法になりますが、100%安全かどうかはわかりません。
(通常はパスワードを盗まれない限り、大丈夫と思われます)

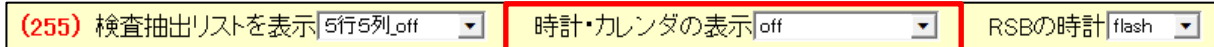
以下2通りの方法が考えられます。

1. RS_BaseのデータをポータブルのHDなどにコピーを行い、ご自宅のパソコンに接続し閲覧。
注)持ち帰った際には基本情報の設定変更が必要になります。
2. VPNを利用してご自宅から医院のパソコンに入り閲覧。
注)VPNソフトやルータ等が別途必要となります。

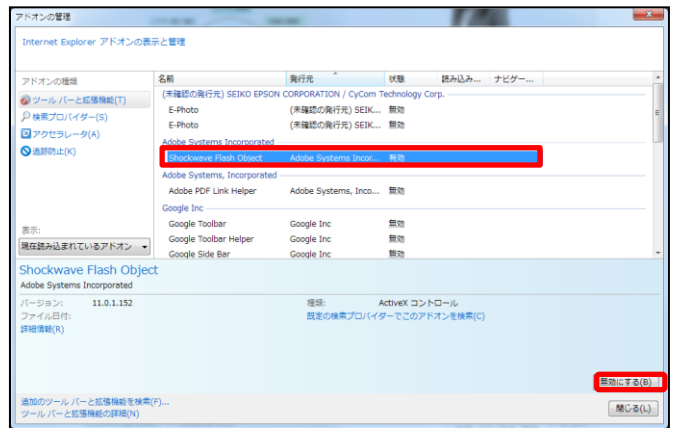
Q21 RS_Base の立ち上げが、10-15秒程度かかります。

対処、確認方法

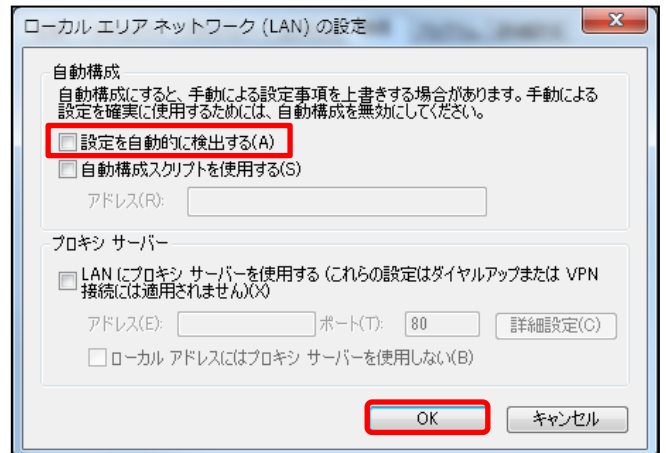
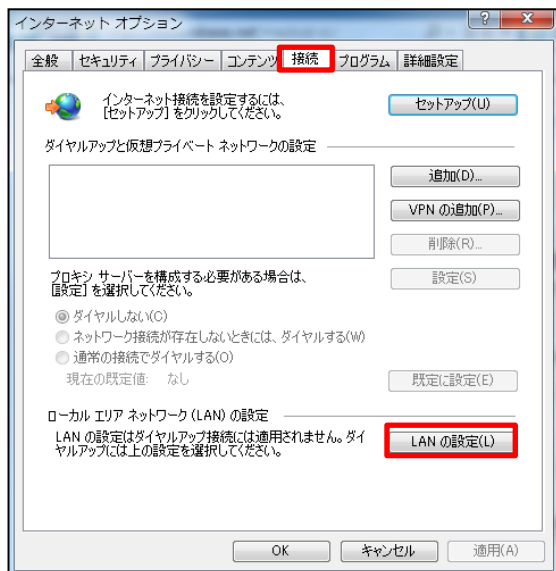
- ①基本情報の[(255) 時計・カレンダーの表示]を“off”にしてみてください。



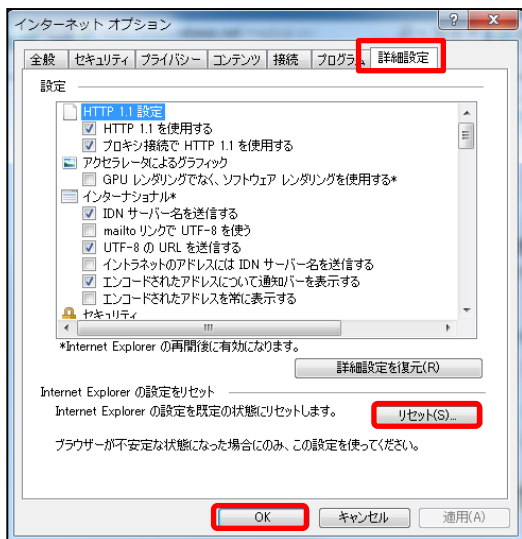
- ②IEの[ツール]→[アドオン管理]を開いて、[有効]になっているものを全て[無効]にしてみてください。



- ③IEの[ツール]→[インターネットオプション]→[接続]→[LAN設定]で、「設定を自動的に検出する」にチェックが入っていればはずしてください。

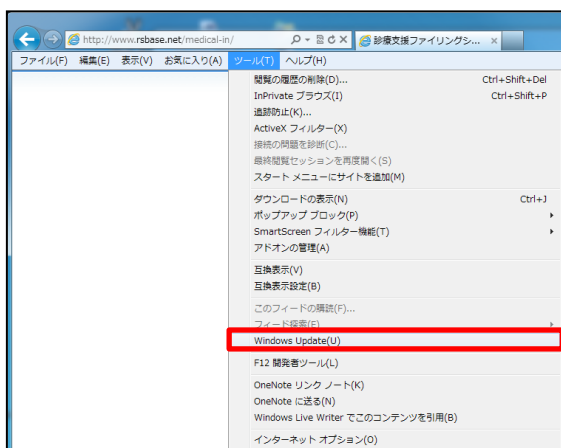


④ IEの[ツール]→[インターネットオプション]→[詳細設定]で「リセット」を行なってください。



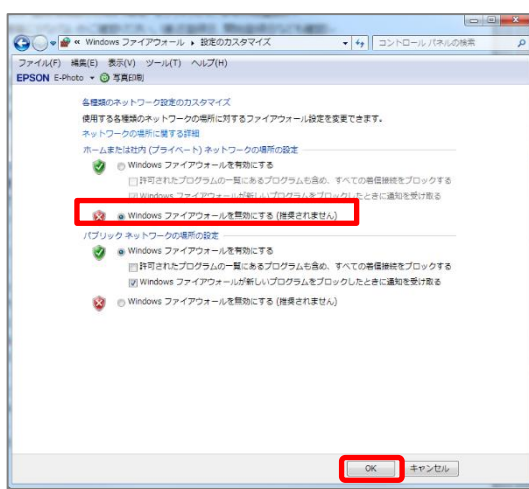
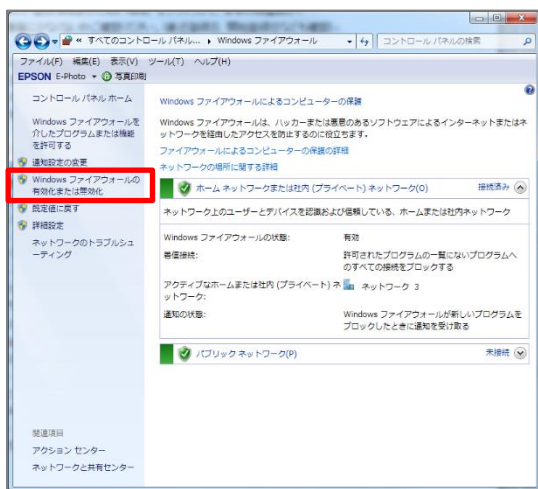
(注)リセットを行った場合には再度IEの設定が必要になります。

⑤ IEの[ツール]→[windows update]の「更新プログラムのインストール」をクリックしてください。



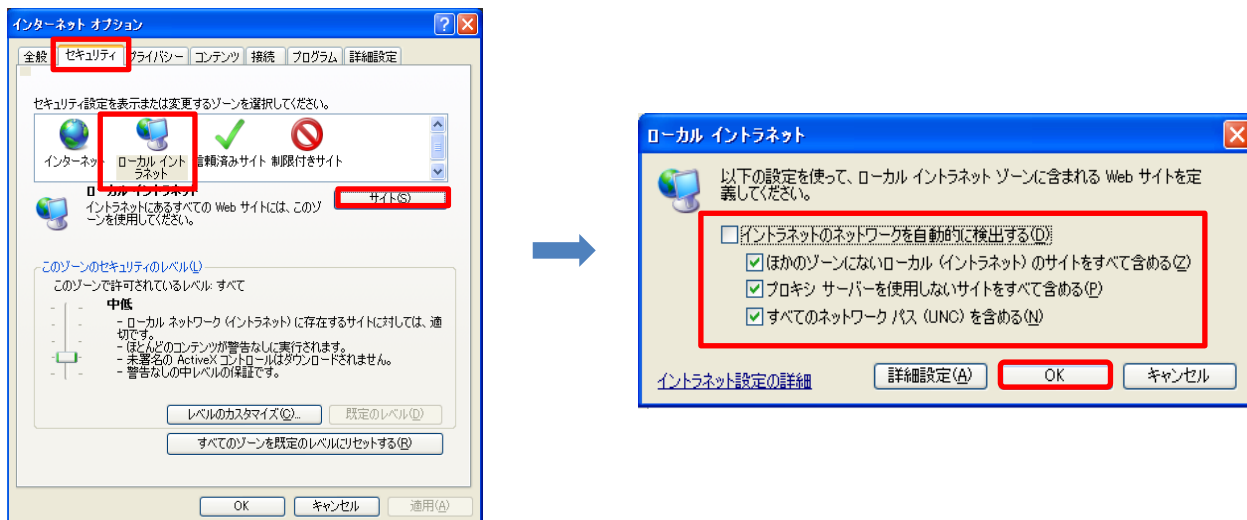
⑥セキュリティソフトを削除してみてください。

⑦Windowsの[コントロールパネル]→[windowsファイアウォールの有効化または無効化]で「Windowsファイアウォールを無効にする」にしてください。



⑧chrome など、他のブラウザで、動作が遅いか確認してください。

⑨IE8がインターネットから遮断／イントラネットのみのときに起動一回目が異常に遅い時は、
[ツール]→[インターネットオプション]→[セキュリティ]→[ローカルイントラネット]→[サイト]で、「イントラネットのネットワークを自動的に検出する」のチェックをはずしてください。ただし、以下の3つのチェックは入れたままにしてください。



⑩患者画面のみ遅い場合は、基本情報の[(216) CRなどへの患者情報出力先(1)(¥¥SV¥ORCAなど)]で存在しないまたは書き込みができない、ネットワーク上のフォルダを指定している可能性があります。

(216) CRなどへの患者情報出力先(1)(¥¥SV¥ORCAなど)

⑪原因はわかりませんが、
<http://localhost/~rsn/2000.cgi> で起動した場合、起動するのに30秒程度かかってしまうという環境があり、それが原因である場合は、
<http://127.0.0.1/~rsn/2000.cgi> で起動すると、通常のスピードで起動する様です。

⑫windows7 以降で、IPv6 が有効になっていると、立ち上がりが遅いことがあります。その場合は、ローカルエリア接続のプロパティで、TCP/IPv6 のチェックを外すと、速くなります。

Q22 ApolloViewでストリームエラーと出てしまいます。

Dicomのフォーマットによっては出ることがあります。(特に、GEなど外国製品にて)そのようなエラーが出た場合は、メーリングリストでご相談ください。

Q23 Window7(Vista) スタンドアローンにて、検査登録ができない。表示が遅い。

[セキュリティタブ] で、rsnフォルダのフルコントロール、変更などにチェックが入っていない可能性があります。[Q1を参照してください]

Q24 RS_Base を表示するのに3分程度かかります。

RS_Baseのサーバーの共有の詳細設定で、フルコントロール、変更チェックが入っていない可能性があります。

Q25 基本情報を開くのに数分かかります。

- RS_Baseサーバーの指定、共有の間違い。
- 基本情報内に、存在しないネットワーク上のフォルダが指定されている個所が存在する。
- DELL の指紋認証ソフトで、基本情報の表示が遅くなる。

などが原因として考えられます。

Q26 RS_Receiverについて教えてください。

RS_Receiver は、Dicom出力可能なレントゲン系検査、超音波などの機器と通信を行い、RS_Base用に dicom のファイルを出力してくれるソフトで、dicomファイルは、RS_Receiver を介して、RS_Baseにファイリングを行います。

入手方法は、RS_Baseメーリングリスト、★各種リンク★内の■RS_Receiverの入手を参照してください。

Q27 RS_Baseを開くと、通常の画面ではなく、違う画面になっています。

RS_Base トップ画面最下部の【設定メニュー】をクリックすると[閲覧専用]、[簡易表示]、[全簡易]などの背景が黄色くなっていると表示が変わりますので、黄色くなっているリンクをクリックすれば、通常の表示に戻ります。

【設定メニュー】



基本	MB_Cal	Head_dell	機能追加	閲覧専用	簡易表示	小説明画	検査項目	診断小	カレンダー
NEXT	○名	患者読(短)	病名置換	矢印非表示	メモ非表示	病名非表示	患選表示	非表示194-5	全簡易
統計	グラフセット	非表示検査	指定検査	経過時間	スケッチ	日付入力	ランチャー	プロブレム	登録系

Q28 RS_Commを利用したいのですが。

RS_Commは院内検査機器とRS-232Cケーブルで接続し、RS_Baseの血液データを自動ファイリングするプログラムです。RS_Baseの正規ユーザ様であればフリーでご利用可能です。

RS_Baseメーリングリストの ★各種リンク★ に、ダウンロード先、マニュアルが記載されています。

- RS-232C通信RS_Base連携プログラム(RS_Comm)
 - RS_Comm取扱説明書
- http://rsbase.net/KW/RS_Comm/RS_Comm_Manual.zip

Q29 ダイナミクスと連携するにはどのように設定したらいいですか。

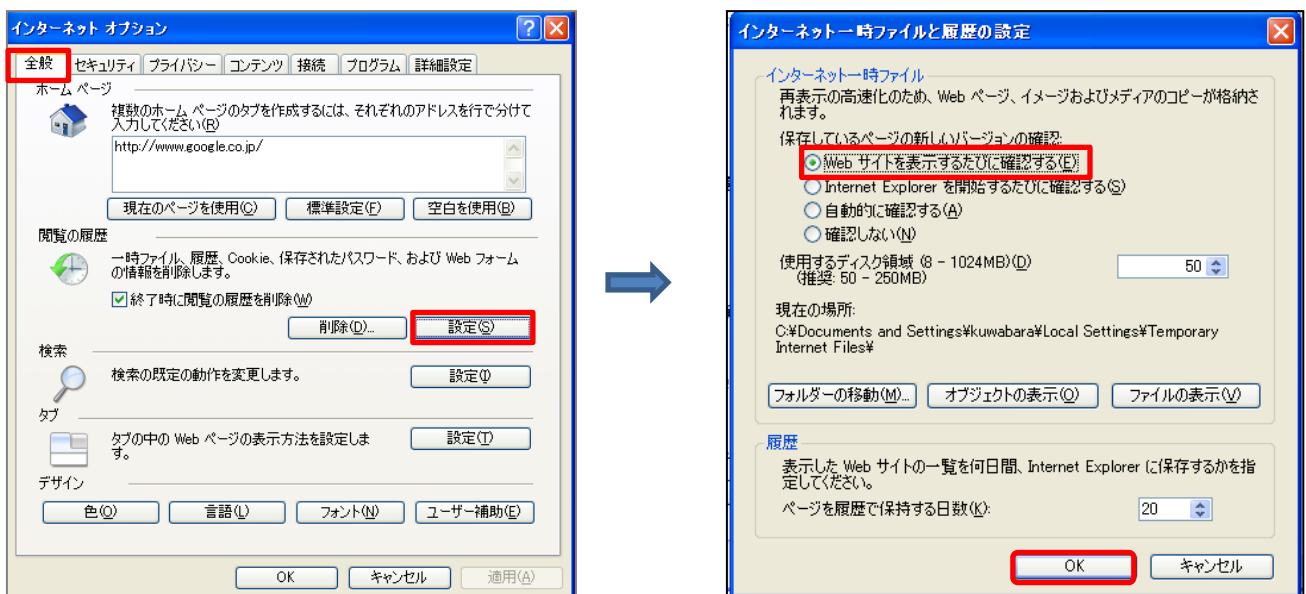
ダイナミクスのmdbからRS_Baseを立ち上げるには、RS_Base用のリンクバーのボタンを利用します。RS_Base用mdbの[R検]、[R血]などのクリックで、患者画面、血液画面を開くという方法になりますが、IEの立ち上がりに時間分が余計にかかります。

一方、2画面構成では、RS_Baseとダイナミクスの両方を立ち上げておいて、ダイナミクスの受付、あるいはRS_BaseのBOX受付で、両ソフトの画面が自動で変わります。(RS_Base用mdb を使用した場合)

注) [RS_Base用mdb]とはダイナミクスのmdbをRS_Base用にカスタマイズしたmdbでダイナミクスの会員専用ページからダウンロードが可能です。

Q30 RS_Base ダイナミクス連携で、RS_Baseがリロードを繰り返します。

IEの[ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→[閲覧の履歴の設定]で、「webサイトを表示するたびに確認する」にチェックを入れてください。



Q31 ダイナミクス of 血圧データをRS_Baseに一括出力する方法を教えてください。

一括で読み込ませる場合は、念のため、一括読み込み前のlaboフォルダ(血液データがあるフォルダ)は別にバックアップをしてから行ってください。

- ①RS_Base用クライアントmdb のコピーを作って、そのコピーmdbで、Q_血圧7day(RS) をデザインビューで開き、抽出条件が[Between Datem()+1 And datem()-7]となっている部分を削除してください。
- ②上記コピーmdbのリンクバーの[血圧7] ボタンをクリックしてください。

以上で、ダイナミクス of 血圧がRS_Baseに読み込まれます。
※読み込みには相当時間がかかります。

上記で使用した コピーmdbは血圧を読み込ませた後は削除してください。

注)上記動作の説明。

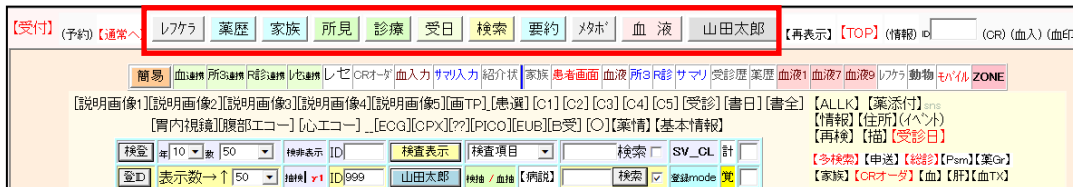
[血圧7]をクリックすると、[Q_血圧7day(RS)]の内容が[c:¥gazou¥受診症状血圧.txt]として出力され、その後RS_BaseのURL[http://localhost/~rsn/labo_new1.cgi?BP=v18]がコールされ、血圧などのデータがRS_Baseに読み込まれます。

注)RS_Baseに読み込ませた血圧は、血液のグラフセットに血圧を指定して閲覧します。

セットの項目は、[血圧(高)]・[血圧(低)]・[体重変化]を指定、初期表示は“2”を指定し、初期表示は血圧のデータのみを表示させるといった感じで設定してください。

Q32 全情報画面について教えてください。

RS_Baseのトップ画面などに、【全情報へ】というリンクがありますが、それをクリックして表示される画面です。この画面では、上部にRS_Baseの主要画面へのボタンが表示され、マウスをボタンに移動させることで画面が変わります。



全情報画面から通常に戻るには、全情報画面、左上部の【通常へ】をクリックします。

≪全情報画面のメリット≫

- ・ クリックなしで各画面が瞬時に切り替わります。

≪全情報画面のデメリット≫

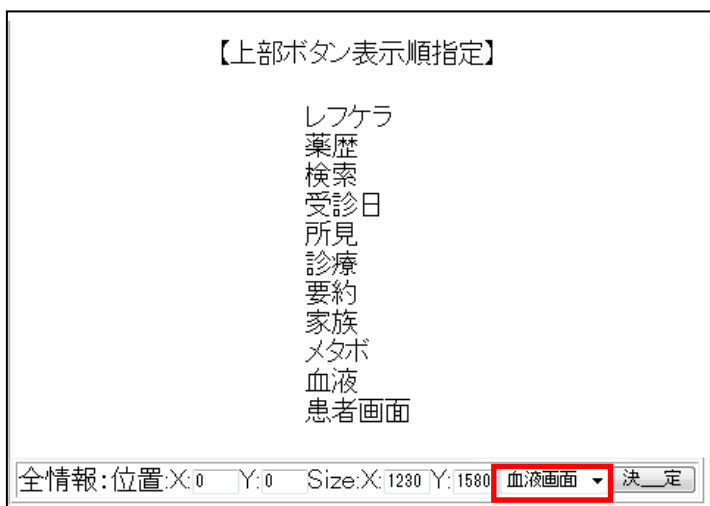
- ・ 患者画面の表示が通常より遅くなります。
- ・ 画面切り替えのボタンが上部にあり、マウス移動が初めは慣れません。

【 リバーサイド内科での設定例 】

当院は内科であり、血液画面は常に見るといいので、現在は全情報の初期画面は[血液画面]を表示させています。

[全情報]だと、RSB患者画面、血液画面、所見3列、RSB診療など、一度にアクセスするので時間がかかり、患者画面を表示させると、待たされ感があるのですが、初期画面を血液画面にしておけば、すぐに表示されますので、待たされ感がほとんどありません。

なお、全情報での初期に表示する画面の変更は、全情報の上部[検索]ボタンにタッチし、その画面の、最下部の[全情報:位置]の指定のいちばん右で血液画面を指定します。



なお、全情報画面の連携は、

■[基本情報]→[(9)(A)xmlHttp_id3 ID連携をする]を「yes」にする。

(9)(A)xmlHttp_id3 ID連携をする yes

■BOX受付を使用する場合は、[B受]の下部設定で[名前クリック指定検査表示]で「yes」を選択し、[URL]で「全情報」を選択すると

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受診][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー]_[ECG][CPX][??][PICO][EUB][簡易][B受][O][File][薬情][基本情報]



変 更	
位置X1	500 Y0 SizeX490 Y800
Reload	20 秒_上部指示表示数2
位置X2	750 Y0 SizeX440 Y1000
BOX受付患者ヨミ表示	no
患者クリックをRSB診療とする	no
ダイナミクスの番号順表示	no
RSB受付のフォントサイズ(size1)	小
RSB受付のフォントサイズ(size2)	小
カレンダーの順番	当月
同一患者削除	no
追加リンクURL	
追加リンク名	
名前クリック指定検査表示	yes
URI	
全情報	
申し送り・受診間隔の読み込み	yes
カレンダー行表示	yes
変 更	

の連携での診察となります。

一方、電子カルテ側から、RS_Baseの全情報画面を変える場合は、RSBクライアントの[public_html¥ID.dat]にID番号を書き込めば、RS_Baseの画面が変わります。

これはRS_Base用mdbの場合は、20d_T.mdb の方になります。

(20d_T.mdb の場合は、ダイナミクス受付にても、ダイナ、RSBが画面連携動作をします。)

なお、全情報の初期画面は、患者画面、血液画面、RSB診療画面所見3列 画面と、医療機関によっていろいろでしょう。

また、[患者画面]の場合は、[全情報]ではなく、通常の表示の方が速いので、そちらを好まれる場合も多いかとは思いますが。

(注) 電子カルテ連携では、MAC電子カルテ + parelles desktop 6でしたら、MACの電子カルテのカルテ画面が変わるときに、parelles desktop 6上のRS_Baseのpublic_html¥ID.dat にIDを書き出せば可能です。

(注) 全情報画面のボタンの配置は、全情報 の上部 [検索] ボタンにタッチした画面の、【上部ボタン表示順指定】をクリックして、順番や、表示する画面を指定します。

Q33 画像を開こうとすると赤い×マークが出ます。

- サーバーで Apache が立ち上がっていない。
- 基本情報で指定している IPアドレスが、サーバーのものと異なる。
- セキュリティソフトが邪魔をしている。
- windows のファイアウォールが有効になっている。

などが、原因として考えられます。

Q34 複数枚の画像のうち1件のみ消したいのですが。

登録された検査の年齢部分をクリックすると、ファイリングされた画像のフォルダが開きますので、その中から不要なファイルを削除してください。

Q35 IDを間違えて登録してしまったので変更したいのですが。

登録された検査の変更列(検査連番)をクリックした画面でID、検査名などが変更可能です。

削	変更	小画	Web表示	画像ソフト	PhED	患者表示	Filing	ホルダ	診入	診断(↓検索)	診断2	診	診
<input type="checkbox"/>	50	○	頭痛問診	診 11/10/14	999	ヤマダ タロウ	山田 太郎	54	男				頭
<input type="checkbox"/>	49	○	前立腺問診	診 11/10/14	999	ヤマダ タロウ	山田 太郎	54	男	重度(22)			前

必要な訂正を行った後、決定ボタンをおしてください。

データ(画像等)読みこみ元選択 拡張子変更 条件 字

(ID_No.)999 (検査日)年 2011 (月)10 (日)1 4 再検査

(検査1) 頭痛問診 (他の検査)

(診断)

注意事項

データ情報: [/Imfidx2011/999_2011_10_14_6/]

施行医 部署

データ情報内のファイル表示

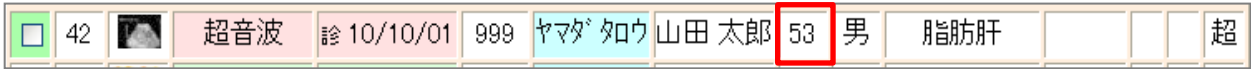
決 定

Q36 RS_Baseを起動すると「xxxxが画像保存フォルダにあります。」と出ます。これは何ですか。

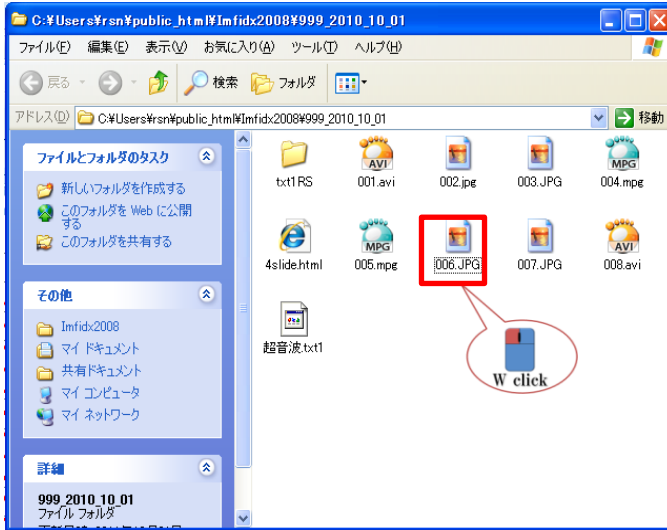
RS_Baseの画像を読み込むフォルダ(例: C:\%gazou) 内にファイルがあると、RS_Baseの画面を表示したときに、その存在を知らせるために表示するようになっています。

Q37 画像を90度回転させたいのですが。

①登録された検査の年齢部分をクリックすると、ファイリングされた画像が保存されているフォルダが開きます。



②開いたフォルダ内の画像をダブルクリックして画像を開きます。



③画像の上で右クリックすると、回転のメニューがでます。

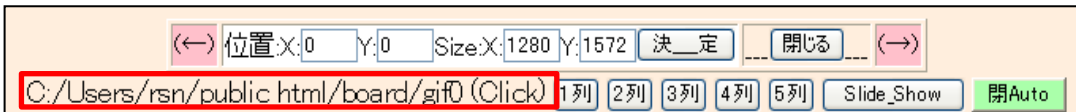


Q38 説明画像の登録方法を教えてください。

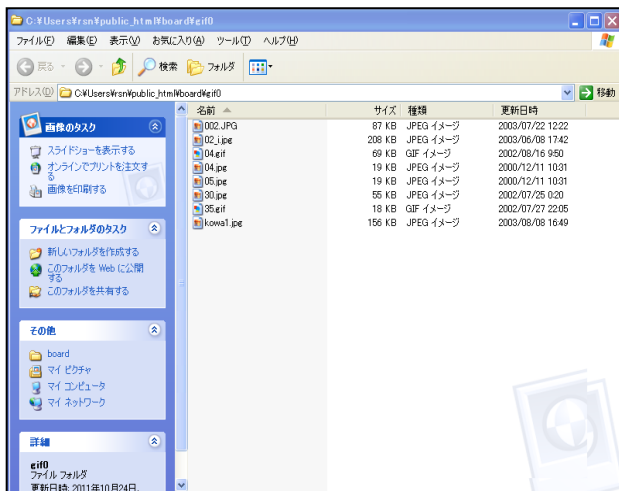
- ① [説明画像1]を開きます。

[説明画像1] [説明画像2] [説明画像3] [説明画像4] [説明画像5] [画TP] [患選] [C1] [C2] [C3] [C4] [C5] [受診] [書日] [書全]
[胃内視鏡] [腹部エコー] [心エコー] [ECG] [CPX] [??] [PICO] [EUB] [簡易] [B受] [O] [File] [薬情] [基本情報]

- ② 説明画像の画面内の、[C:/Users/rsn/public_html/board/gif0 (Click)]をクリックします。



- ③ フォルダが開くのでjpgなどの画像をコピーします。説明画像のサイズは、使用する画面サイズに合わせて適切なサイズのものを用意してください。



- ④ 再度[説明画像1]を開くと画像が表示されます。

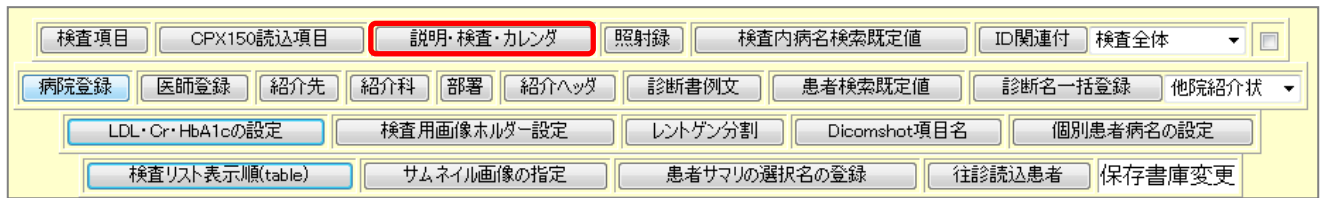
※説明画像は1～5まで用意されており、用途によって分類してご利用ください。

初期値で[説明画像2]は心臓・肺関係、[説明画像3]は胃、説明画像4は眼科関連、[説明画像5]は耳鼻科関係の画像が入っております。

※説明画像のファイル名に日本語があると画像が正しく表示されません。

説明画像の名称の変更

①基本情報から[説明・検査・カレンダー]ボタンをクリックします。



②説明画像1～5の名称を変更し、画面下部の「以下の設定を行う」ボタンにて名称の変更を行います。

画像データベース名変更（改行したい場合は、登録名改行 と登録してください。）

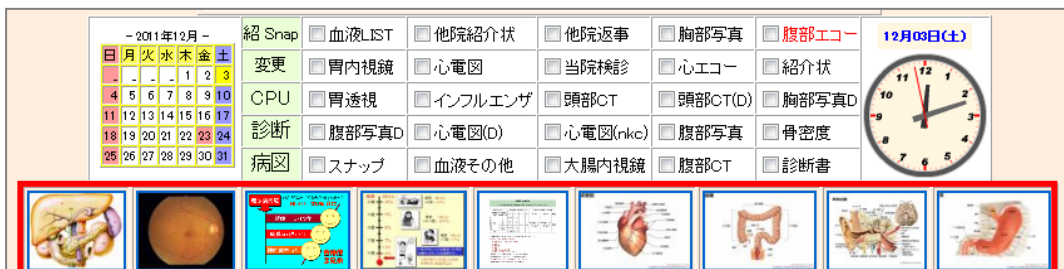
説明画像1					
説明画像2					
説明画像3					
説明画像4					
説明画像5					

ここで改行を入れる

画像TOP

説明画像をRS_Baseの患者画面に表示

上記説明画像を表示するためには説明画像1～5を開いて画像をクリックする方法となりますが、よく利用する説明画像を患者画面にサムネイル表示し、ワンクリックで説明画像を表示することができます。



RS_Baseの患者画面の説明画像の表示方法

① [画TP] をクリックしフォルダを開きます。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受診][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][ECG][CPX][PICO][EUB][簡易][B受][O][File][薬情][基本情報]

② フォルダにjpg画像をコピーした後、基本情報の(4)【トップ説明画像のサムネイル作成】をクリックすると、説明画像が表示されるようになります。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受診][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][ECG][CPX][PICO][EUB][簡易][B受][O][File][薬情][基本情報]

(4) 【トップ説明画像のサムネイル作成】

Q39 説明画像の登録をしましたが表示されません。

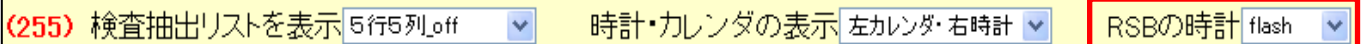
RS_Baseのトップ画面、患者画面に表示される、説明画像は[画TP] にjpgなどのファイルをコピーしますが、その後、(4)【トップ説明画像のサムネイル作成】をクリックする必要があります。

※画像が日本語ファイル名になっている则表示されません。

※PDFなどは画像は表示されずファイル名が表示されます。ファイル名をクリックすると表示されます。

Q40 時計が表示されません。

(255) RSBの時計 で、「flash」を指定してください。なお、「flash」はインストールが必要です。Flashのインストールは、一時的にでもインターネットに接続する必要があります。



Q41 院外からの画像データをRS_Baseに入れたいのですが。

院外からのDicom データをRS_Baseに読み込む場合は、

他院からのDICOM CD検索 & ファイリングソフト

http://rsbase.net/KW/RS_Dicom/RS_Dicom_Ver005.zip (Ver0.05)をご利用ください。

なお、バージョンが変わるとリンクも変わりますので、リンク先は、メーリングリストの★各種リンク★をご参照ください。

Q42 紹介状の画像の貼り付け方法が解りません。

- ① 添付したい画像の[検査名]をクリックすると画像を表示されます。表示した画像に下に、「→gazou」というリンクがありますので、それをクリックすると、その画像が c:\gazou フォルダにコピーされます。
- ② 記載した紹介状の検査の[Filling列(患者名漢字)]の部分をクリックすると、その紹介状の検査に画像ファイルが読み込まれます。

紹介状の表示は下記のとおりです。

- a) 検査名(紹介状) クリック:通常表示 (画像2列)
- b) 日付クリック: 紹介状入力
- c) IDクリック: 画像3列表示
- d) 診断名3 クリック: 画像4列表示
- e) 診断名4 クリック: 3枚の画像時、画像配置変更表示
- f) 分離 部分クリック: 紹介状と画像の改ページ表示
- g) 小画列クリック: 患者名伏せ文字表示

Q43 Side-Showの病名を消したいのですが。

基本情報(70)side_show表示内容で、病名on があるとside_show に病名が表示されます。
この設定は、既定値は full です。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受診][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー]__[ECG][CPX][?][PICO][EUB][簡易][B受][O][File][薬情][基本情報]

(70) 薬歴データ等Side表示 side_showR side_showの幅 280 side_show表示内容 full

Q44 過去の画像と比較はどのようにすればいいですか。

- CRなど、Dicom画像は AppoloViewLiteで画像を立ち上げた時点で過去画像も読み込んでいますので、比較が可能です。
- CTなどは、別々に立ち上げて比較するという方法になります。
- jpgなどの画像の比較は、それぞれ別に立ち上げて比較するか、患者画面下部の「表示したい複数の検査を選んで、下のボタンを押してください」の下にある検査を選んで「複数検査画像比較表示」をクリックして表示するという方法になります。
あるいは、各検査ごとに、キーとなる画像を指定しておく、same_k (same_key 同じ検査のキー画像を表示)ボタンにて病変の経過を簡単に見ることができます。

Q45 エコー、内視鏡、心電図等のファイリング方法が分かりません。

- エコーは、Dicom通信(RS_Receiver)やコンパクトフラッシュなどのメディア経由でのファイリング方法があります。
- 内視鏡は、メディア経由やonlineなどがあり、Dicom通信が可能なものもあります。
- 心電図は、メディア経由やonline などがあります。

設定は、

(92) 本PCのFD(心電図を取り込むドライブ)のドライブ

(95) 本PCのMO(内視鏡画像を取り込むドライブ)のドライブ

あたりになり、読み込みはRS_Base上部の[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー]__[ECG] をクリックして読み込むか、RS_Auto という自動読み込みソフトでの読み込みも可能です。

※Dicomに関しては、RS_Receiver で所定フォルダに画像を出力し、それをRS_Baseで自動ファイリングするという方法になります。

Q46 院内検査の登録が30件しか出ません。

基本情報の[(162) 院内検査の項目数設定]で登録する検査数を増やしてください。

(162) 院内検査の項目数設定 50 検査項目順指定個数 100 (各クライアントで設定)

Q47 患者の登録があるのにRS_Baseの画面では未登録と出ます。

- その患者情報に0番の ID が存在する。
- IDが重複したデータが存在する。
- そのIDの患者情報がない。
- 検査登録された後に患者登録された。

以上のような場合に“未登録”となることがあります。

RS_Baseの患者情報が、サーバーの[Users¥rsn¥public_html¥data¥name.csv]にありますので、確認をしてください。

また、RS_Base基本情報のID関連付を一度行ってみてください。

The screenshot shows a grid of settings buttons. The button labeled 'ID関連付' (ID Linking) is highlighted with a red rectangular box. Other visible buttons include '検査項目', 'CPX150読込項目', '説明・検査・カレンダー', '照射録', '検査内病名検索既定値', '検査全体', '病院登録', '医師登録', '紹介先', '紹介科', '部署', '紹介ヘッダ', '診断書例文', '患者検索既定値', '診断名一括登録', '他院紹介状', 'LDL・Cr・HbA1cの設定', '検査用画像ホルダー設定', 'レントゲン分割', 'Dicomshot項目名', '個別患者病名の設定', '検査リスト表示順(table)', 'サムネイル画像の指定', '患者サマリの選択名の登録', '往診読込患者', and '保存書庫変更'.

なお、RS_Baseトップ画面 6-8行目の[一覧]の[患者重複]を表示すると患者重複の状況を確認することができます。

The screenshot shows the search interface of RS_Base. At the bottom, there is a row of buttons: 'Top', '←B', 'N→', '←No', 'NIH1 予防', 'ID', '一覧 患者重複', '血液', '(111)', '検索 入力', and '血List'. The '一覧 患者重複' button is highlighted with a red rectangular box. Above it are various search filters and options like '検査表示', '患者表示', '検索', and '登録mode'.

Q48 患者さんの名前が○になっています。

RS_Baseのトップ画面最下部の【設定メニュー】をクリックすると右側2行目に[○名]の背景が黄色くなっていると、○文字表示になりますので、○名をクリックして、背景を白くしてください。

【設定メニュー】

基本	MB_Cal	lead_dell	機能追加	閲覧専用	簡易表示	小説明画	検査項目	診断小	カレンダー
NEXT	○名	患者読(短)	病名置換	矢印非表示	メモ非表示	病名非表示	患選表示	非表示194-5	全簡易
統計	グラフセット	非表示検査	指定検査	経過時間	スケッチ	日付入力	ランチャー	プロブレム	登録系

Q49

「患者名ヨミ」をクリックしても患者画面にならず、患者名漢字をクリックすると患者画面になります。

RS_Baseのモードが【全情報】モードになっていますので、画面上部の【通常表示へ】をクリックしてください。

Q50 検査名を追加する方法を教えてください。

基本情報の[(8)【各画面表示位置初期化】]の下のボタン群内「検査項目」をクリックした画面で、検査の追加・変更・削除が可能です。



他院紹介状	他院返事	胸部写真	腹部エコー	胃内視鏡	心電図
当院補診	心エコー	紹介状	胃透視	インフルエンザ	頭部CT
頭部CT(D)	胸部写真D	腹部写真D	心電図(D)	心電図(nkc)	腹部写真
骨密度	スナップ	血液その他	大腸内視鏡	腹部CT	診断書
紹介の返事	胸部CT	注腸	検査歴	他院血液	SRQ-D
更年期問診	前立腺問診	履歴書	HDS-R	75gOGTT	個人情報
原爆健管	HolterECG	ホルター結果	頭部MRI	SAS問診	頭痛問診
検査項目変更					

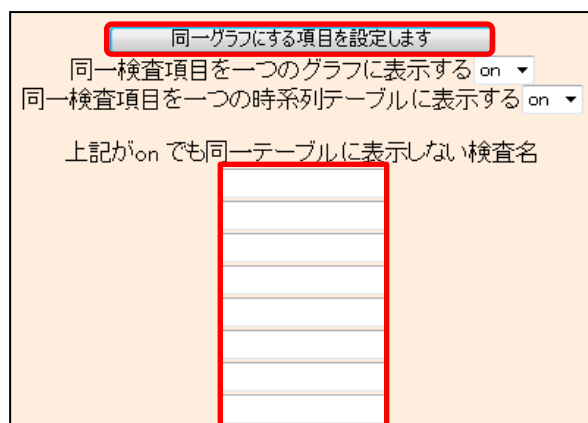
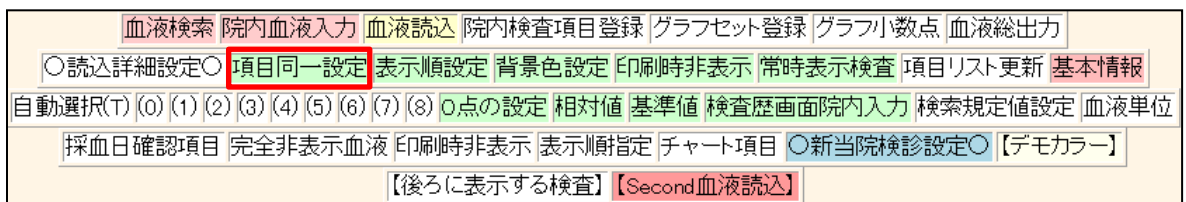
異なる検査なのに（抗体、抗体価 判定 など）、検査名が同じ項目のため正しく表示されません。

RS_Baseではファイリングは検査会社様の検査コードでファイリングしますが、表示の際に検査名にて同一時系列で表示を行うようになっており、別検査であっても同一の名前の場合、同一時系列で表示され正しく表示されない場合があります。

【方法1】

同じ検査項目であるが、異なる時系列で表示したいものは、
[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[項目同一設定]で、[上記がon でも同一テーブルに表示しない検査名]に、抗体、抗体価、判定などを指定してください。

※この方法で指定した検査は、検査のグラフ化はできません。



【方法2】

異なる検査が同一検査名になっており、一つの時系列で表示されるため、一方の検査の表示検査名を変更し、異なる時系列に表示する方法は、

[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[項目同一設定]の画面下部の、[検査名を変更する(検査→検査、コード→検査)]のテーブルの下方のカラムがピンクの部分で、左に検査コードを指定、右に変更後の検査名を指定すると、当該コードの検査は、変更指定した検査名で表示されるため、別の時系列で表示されます。

→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
→	
同一グラフにする項目を設定します!	

(注) 血液検査項目のコードの確認方法

検査コードは血液画面下部の【データの変更・削除】で、通常院外検査変更_ID.txt というボタンを押した画面で、確認することができます。(この画面は決定せずに、コードを確認したら、そのまま閉じてください)

注) RS.Commから読み込んだ血液データの場合は、上記のボタンが(BP)ID.txt 検査データ変更のボタンになります。

Q52 院内の血液データの登録方法を教えてください。

[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→ [院内検査項目登録]で院内項目の情報を登録してください。

計 N1 H1 予防 999 ID 一覧 登録情報 999 血液 (183) 検索 入力 血List



【院内検査】 ID→ 血液表示 表示人数 100 ID降順 ID 患者表示 患者検索 開じる

【血液各種設定 Click Here】 【血液集計】 【GFR-CCr 相関】



位置 X:0 Y:0 Size X:1280 Y:1572 決定 開じる

血液検索 院内血液入力 血液読込 **院内検査項目登録** グラフセット登録 グラフ小数点 血液総出力

○読込詳細設定 ○項目同一設定 表示順設定 背景色設定 印刷時非表示 常時表示検査 項目リスト更新 基本情報

自動選択 (T) (0) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) ○点の設定 相対値 基準値 検査画面院内入力 検索規定値設定 血液単位

採血日確認項目 完全非表示血液 印刷時非表示 表示順指定 チャート項目 ○新当院検診設定 ○【デモカラー】

【後ろに表示する検査】 **【Second血液読込】**



以下の検査項目を登録します。(最大値 項目数 199)

01) (検査名) 白血球数	{正常値下限(全体 or 男)} 3800	{正常値上限} 9000	{下限(女性)}	{上限(女性)}	{コード} 1
02) (検査名) 赤血球数	{正常値下限(全体 or 男)} 430	{正常値上限} 600	{下限(女性)} 376	{上限(女性)} 500	{コード} 2

データの登録は、患者画面の【血入】などをクリックして行います。

山田 太郎 総括ヤマタ タロウ(54) [男] 広島市東区牛田北 (指示) ☆ 08/09/20

Allkey 個 紹介状 診断書 **【血入】** (R診) (SUM) 血液 10/08/02 (家族) 診断 (成長)

削 変更 小画 検査SORT 時SORT Ksort よみ Filing 札診 診入 診断(検索) 診断2 診 診 再

50 頭痛問診 診 11/10/14 999 ★ 山田 54 男 13M



GoTo_Top ← 前日 2011/10/28 翌日 → 開Auto

999 ← ID入力

ID 999 2008/12/21 2010/03/18 2010/04/14 2010/05/12 2010/06/07 2010/10/07 → 本日

新着 (999) (山田 太郎) (54) (男)

血液 ↓ (2011/10/28) (本日) 患者ID: 999 全て上書き 男 血液 ↓

→ (院内) 検査データ登録ボタン (Excel)

白血球数	赤血球数	ヘモグロビン
ヘマトクリット(Ht)	MCV	MCHC
血小板数(PLT)	血糖(空腹時)	血糖(30min)
血糖(1h)	血糖(90min)	血糖(2h)
血糖(3h)	血沈(1)	血沈(2)
ヘモグロビンA1C	便潜血1	便潜血2
SpO2	身長(0.70m)	体重
腹囲	BMI	収縮期血圧
拡張期血圧		脈拍
HP除菌	空腹時IRI	右視力
家庭血圧(S)	家庭血圧(D)	

検査データ登録ボタン

Q53 血液画面を表示しようとクリックするが画面に表示されません。

血液画面が画面外に出ている可能性があります。
基本情報画面を表示させ、(29)血液表示位置(X軸)(Y軸)の指定を確認してください。

(29) 血液表示位置(X軸) 0 (Y軸)

※ただし、RS_Baseトップ画面下部の血液位置X: Y: で表示位置を指定している場合は、こちらの指定が優先します。

RSB画面:位置X:0 Y:0	Size:X:1280 Y:1600	血液位置X:0 Y:	画像位置X: Y:	決定
-----------------	--------------------	------------	-----------	----

Q54 血液データのIDを間違えて登録してしまったので変更したいのですが。

臨床検査センターからのデータは、血液表示の単独画面の最下部で削除を行います。

■血液データの削除方法

1. 血液テーブルの単独表示画面の下部の【データの変更・削除】をクリックします。

山田 太郎 総括ヤマダ タロウ(54)[男] 広島市東区牛田北 (指示) ☆ ★ 08/09/20														
Allkey	個	紹介状	診断書	【血入】(R診)(SUM)	血液	10/08/02	【家族】	診断	(成長)					
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ	Filing	札	診入	診断(検索)	診断2	診	診	再



G_SET	Data更新→	基準値	糖尿病	肝機能	脂質	腎機能	貧血	血圧	血圧・体重	体重	糖尿病	肝機能	脂質	腎機能	貧血	(TOP↑)
【データの変更・削除】																

2. 「選択された検査データ日のデータを削除します」から削除したい日付を選択し、「ID.txt」にチェックを入れて、「検査データ削除」ボタンをクリックします。

その後、臨床検査センターからもらった正しいデータを読み込ませてください。

2010/08/02	(BP)ID.txt 検査データ変更	日付手入力 2011/10/
2010/08/02	通常院外検査変更 ID.txt	日付手入力 2011/10/
選択された検査データ日のデータを削除します		
院外(ID.txt) <input type="checkbox"/> 院内((BP)ID.txt) <input type="checkbox"/> 検査データ削除		
指定した検査データ日のデータを削除します(院外検査のみ)		
日付手入力		
検査データ削除		
(検査項目説明ファイル保存ホルダー)		

■血液データの変更方法

① 血液テーブルの単独表示画面の下部の【データの変更・削除】をクリックします。

山田 太郎 総括ヤマタ タロウ(54)[男] 広島市東区牛田北 (指示) ☆ ★ 08/09/20														
Allkey	個	紹介状	診断書	【血入】(R診)(SUM)	血液	10/08/02	【家族】	診断	(成長)					
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ	Filing	ホリタ	診入	診断(検索)	診断2	診	診	再



G_SET	Data更新→	基準値	糖尿病	肝機能	脂質	腎機能	貧血	血圧	血圧・体重	体重	糖尿病	肝機能	脂質	腎機能	貧血	(TOP↑)
【データの変更・削除】																

② 日付を選択し、「通常院外検査変更ID.txt」のボタンをクリックします。

2010/08/02	(BP)ID.txt 検査データ変更	日付手入力 2011/10/
2010/08/02	通常院外検査変更 ID.txt	日付手入力 2011/10/
選択された検査データ日のデータを削除します		
院外(ID.txt) <input type="checkbox"/> 院内((BP)ID.txt) <input type="checkbox"/> 検査データ削除		
指定した検査データ日のデータを削除します(院外検査のみ)		
日付手入力 <input type="text"/> 検査データ削除		
(検査項目説明ファイル保存ホルダー)		

③ 「ID変更」で正しいIDを入力して決定すると正しい患者さんにデータが読み込まれます。
※この時点では、間違って読み込んだデータは残ったままですので、前述の血液データの削除方法で削除する必要があります。

Q55 院内での血液検査のデータを修正したいのですが。

血液テーブルの当該日付部分の、“年”をクリックすると、そのデータの入力 (and 変更) 画面になりますので、データを変更し“__検査データ登録ボタン__”をクリックしてください。

<input checked="" type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> 印刷 → File <input type="checkbox"/>	Graph <input checked="" type="checkbox"/> 体重 <input type="checkbox"/>	基準値	<input type="checkbox"/> 2009 12/21	<input checked="" type="checkbox"/> 2010 02/17	<input type="checkbox"/> 2010 03/16	<input type="checkbox"/> 2010 04/14	<input type="checkbox"/> 2010 05/12	<input type="checkbox"/> 2010 06/07	<input type="checkbox"/> 2010 08/02
---	--	------------	--	---	--	--	--	--	--



GoTo Top	← 前日	年 2010 (月) 02 (日) 1 ~ 7	翌日 →	閉Auto			
ID:999	2009/12/21	2010/03/16	2010/04/14	2010/05/12	2010/06/07	2010/10/07	→本日
計算 (999)(山田 太郎)(54)(男)							
血液 ↓ (2010/02/17) 患者ID 999 全て上書き 男 血液 ↓							
→(院内F) __検査データ登録ボタン__ (Excel)							
白血球数		赤血球数		ヘモグロビン			
ヘマトクリット(Ht)		MCV		MCHC			
血小板数(PLT)		血糖(空腹時)		血糖(30min)			
血糖(1h)		血糖(90min)		血糖(2h)			
血糖(3h)		血沈(1)		血沈(2)			
ヘモグロビンA1C		便潜血1		便潜血2			
SpO2		身長 ^{0.70cm}		体重			
腹囲		BMI		収縮期血圧			
拡張期血圧				脈拍			
HP除菌		空腹時IRI		右視力			
家庭血圧(S)		家庭血圧(D)					
__検査データ登録ボタン__							

※データを削除する場合は、患者IDの右横の、“全て上書き”を“全て消去”に選択して、“__検査データ登録ボタン__”をクリックしてください。

血液 ↓	(2010/03/16)	患者ID	999	全て消去	男	血液 ↓
→(院内F) __検査データ登録ボタン__ (Excel)						
白血球数	6000	赤血球数	491	ヘモグロビン	16.2	
ヘマトクリット(Ht)	48.0	MCV	97.8	MCHC	33.8	

Q56 患者さんの検査データを渡す (CDにコピー) 方法を教えてください。

一つの検査を渡す場合は、当該検査の変更列(連番)をクリックして、【CD用出力を作ります】をクリックすると、CDに焼く用のファイルが作成されます。

削	変更	小画	Web表示	画像ソフト	PhED	患者表示	Filing	ホルダ	診入	診断(↓検索)	診断2	診診
<input type="checkbox"/>	42		超音波	診 10/10/01	999	ヤマダ タロウ	山田 太郎	53	男	脂肪肝		超

データ(画像等)読みこみ元選択 拡張子変更 条件字

(ID_No.)999 (検査日)年 2010 (月) 10 (日) 0 1 再検査

(検査1) 超音波 (他の検査)

(診断) 脂肪肝

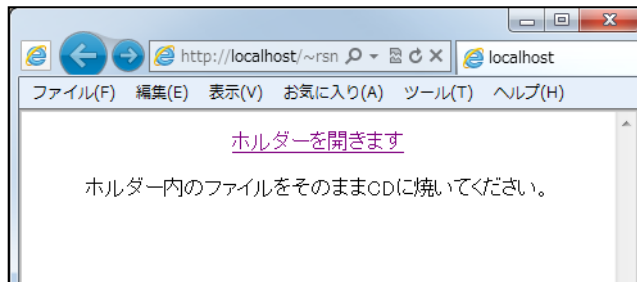
注意事項

データ情報: 【/Imfidx2008/999_2010_10_01/】

施行医 部署

データ情報内のファイル表示

【CD用出力を作ります】

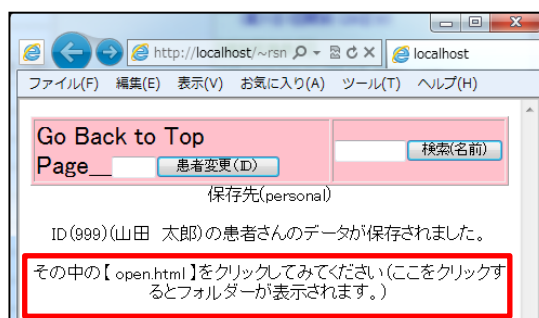


たくさんの検査項目をCDに焼く場合は、患者画面下部の、[データ総保存(紹介用)]で、検査を選択すると保存ができます。

検査種	<input type="checkbox"/> (RSサマリ) <input checked="" type="checkbox"/> (血液)...
ティンパノRS	<input type="checkbox"/> (2009/09/10) <input type="checkbox"/> (2008/06/09)
腹部写真D	<input checked="" type="checkbox"/> (2007/05/17)
膝関節	<input checked="" type="checkbox"/> (2010/07/05)
肺Flow	<input type="checkbox"/> (2010/06/09) <input type="checkbox"/> (2010/04/03)

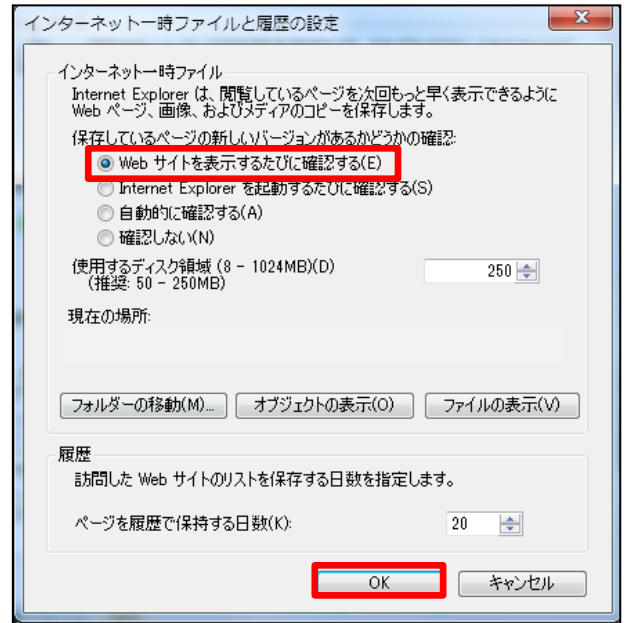
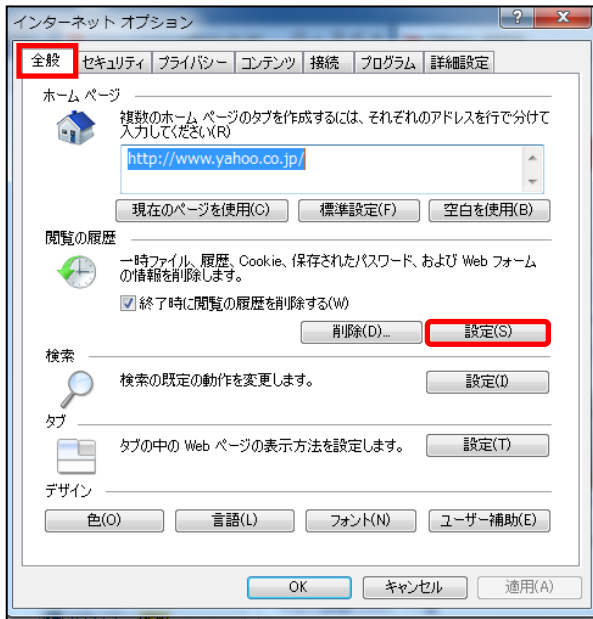
999 **データ総保存(紹介用)** 検査順 血液html 13 日分

血液多項目 1 個以上 記入file off 患者名 on



Q57 血液のグラフ画面が、血液の表示回数を変えても変わりません。

IEの[ツール]→[インターネットオプション]→[全般]の閲覧履歴の[設定]で、“Webサイトを表示するたびに確認する”に変更することで改善します。



Q58 血液データをグラフ表示すると×になってしまいます。

2010年までは、血液のグラフを“java”で表示させており、その場合、“java”がインストールされていないと、グラフが X になっていましたが、現在は“java”を利用していないため、Xになることはありません。

Q59 血液データを印刷するとはみ出してしまいます。(横)

■印刷の表示回数を少なくするか、IE8以降は印刷プレビューで縮小印刷が可能です。

■血液画面テーブルのメニューでPage分割をすると表示回数に応じてページを分割して印刷することができます。

山田 太郎 総括ヤマダ タロウ(54)[男] 広島市東区牛田北 (指示) ☆ ★ 08/09/20														
Allkey	個	紹介状	診断書	【血入】(R診)(SUM)	血液 10/08/02	【家族】	診断	(成長)						
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ	Filing	ホタテ	診入	診断(検索)	診断2	診	診	再
50	○	頭痛問診	診 11/10/14	999	★	山田	54	男						13M



改ページ	項目非表示	常時検査非表示	説明 L1	(血) (肝) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8)	非表示指定項目の非表示	Page分割	(csv)	(院外F)	Excel		
印刷	→File	Graph	体重	基準値	2009	2010	2010	2010	2010	2010	2010
					12/21	02/17	03/16	04/14	05/12	06/07	08/02

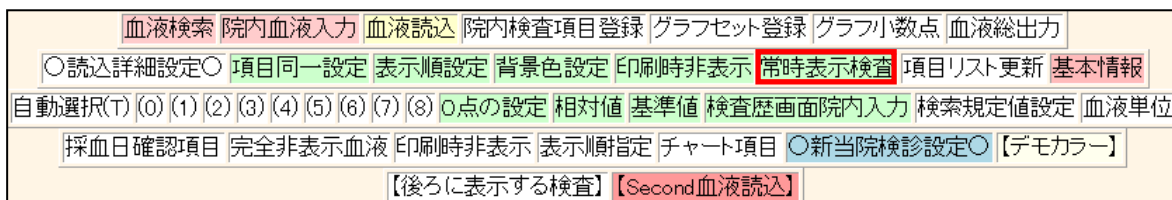
Q60 血液データ常時表示検査の指定方法を教えてください。

通常血液テーブルは直近の7回程度しか表示されず、それ以前のデータは20回表示などにして見ていただくこととなりますが、「HCV抗体」や「HBs抗原」など常に血液テーブルに表示させたい場合は、常時表示検査を設定していただくことになります。

設定方法は、[血LSIT]→【血液各種設定Click Here】→[常時表示検査]をクリックし、HCV抗体 HBs抗原など、常に閲覧しておきたい検査項目を[常時表示2]以降に指定することで表示されます。



【血液各種設定 Click Here】【血液集計】【GFR-CCr 相関】



決定・変更

コレステロール	総コレステロール	▼	中性脂肪	中性脂肪
HDL-C	HDL-コレステロール	▼	クレアチニン	クレアチニン
HbA1c		▼	空腹時血糖	空腹時血糖
LDL-C	LDL-コレステロール	▼	常時表示2	非特異IgE(FEIA)
常時表示3	糞便ヘモグロビンNO1	▼	常時表示4	HBs-Ag(MAT)
常時表示5	AFP	▼	常時表示6	ヤケウヒゲシ(IgE)
常時表示7	コヒウヒゲシ(IgE)	▼	常時表示8	猫皮膚(IgE)
常時表示9	HBs-Ag(PHA)	▼	常時表示10	HCV-3rd<判定>
常時表示11	糞便ヘモグロビン	▼	常時表示12	Ig-A
常時表示13	糞便ヘモグロビンNO1	▼	常時表示14	糞便ヘモグロビンNO2
常時表示15	スギ(IgE)	▼	常時表示16	好酸球数(鼻汁)

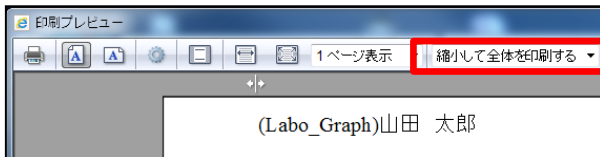
設定が完了すると、上部の「TSH」や「PSA」などが、常時表示されます。

検査名	基準値	2002 12/14 9.06	2010 03/20 08.56
TSH	0.38~3.64		3.048
PA(PSA)	4.0以下		0.69
HBs-Ag(MAT)	(-)	(-)	
HCV-3rd<判定>	(-)	(-)	

検査名	基準値	2000 01/29 18.27	2000 08/04 18.00	2001 08/03 18.00	2002 02/09 9.01	2002 12/14 9.06	2010 03/20 08.56
白血球数	3200-9000		7300		5900	6400	5200
好中球数	1000-6000						2700
リンパ球数	1000-4000						2180
赤血球数	♂427~570		441		455	459	457
ヘモグロビン	♂13.5~17.6		14.3		14.4	15.2	14.9
ヘマトクリット(Ht)	♂39.8~51.8		40.9		44.0	44.2	43.4
MCV	♂82.7~101.6		92		96	96.3	95.0
MCH	♂28.0~34.6						33.1
MCHC	♂31.6~36.6						34.4

Q61 血液データを印刷すると2枚になってしまいます。

印刷プレビューで、縮小印刷をしていただくことになります。



※印刷用のテーブル表示の左上に、印刷(46)などと、印刷項目数が書いてありますので、そのまま印刷すると2枚になるかどうかの、目安になります。

54才 男性		検査データ		ID: 999		山田 太郎		
印刷(46)	基準値	2009 12/21	2010 02/17	2010 03/16	2010 04/14	2010 05/12	2010 06/07	2010 08/02
白血球数	3900~9800	6200	6400	6000	6100	6000	6200	6300
赤血球数	♂427~570	485	↓ 416	491	487	491	↓ 350	↓ 376
ヘモグロビン	♂13.5~17.6	15.5	13.5	16.2	15.6	16.0	↓ 10.5	↓ 12.5
ハマトクリット(Ht)	40~52	47.7	42.6	48.0	47.5	48.5	40.6	↓ 39.4

Q62 同一の検査なのに、血液データが2重（2行）に表示されてしまいます。

RS_Baseでは、血液検査項目が同じ名前だと、データとして異なる時系列でも同じ表示となります。基本情報の[(152)異なる時系列データの重複数]で指定した個数を超えて同じ検査項目が存在すると、2行に表示されます。

Q63 体重を毎回手入力していると、見たい血液検査がみえなくなります。

体重のように、患者さんによっては頻回に測定する数値は、[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[完全非表示血液]に、体重を指定して血液検査テーブルに表示しないようにしてください。
※体重以外の項目も下図のように設定すれば表示しないようにすることが可能です。

Top ←B N→ ←No N1H1予防 ID 一覧 登録情報 血液 (^^) 検索 入力 血List

↓

【血液各種設定 Click Here】【血液集計】【GFR-CCr 相関】

↓

血液検索 院内血液入力 血液読込 院内検査項目登録 グラフセット登録 グラフ小点数 血液総出力
○読込詳細設定○ 項目同一設定 表示順設定 背景色設定 印刷時非表示 常時表示検査 項目リスト更新 基本情報
自動選択(〒) (0) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) 0点の設定 相対値 基準値 検査履歴画面院内入力 検索規定値設定 血液単位
採血日確認項目 完全非表示血液 印刷時非表示 表示順指定 チャート項目 ○新当院検診設定○ 【デモカラー】
【後ろに表示する検査】 【Second血液読込】

↓

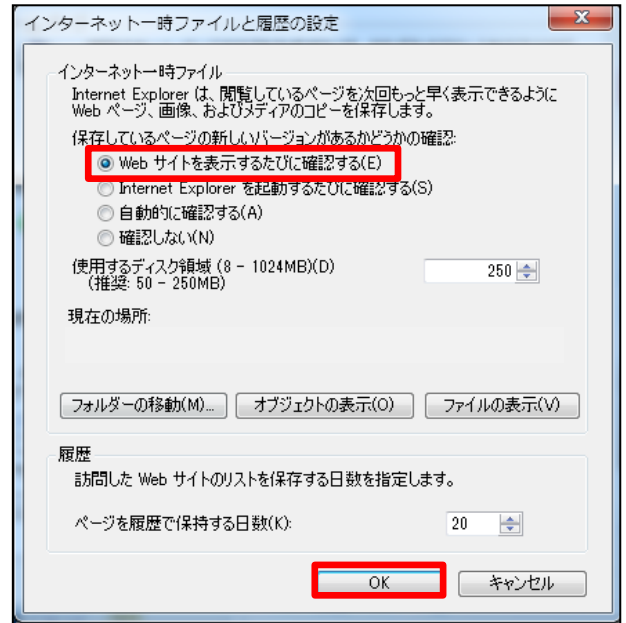
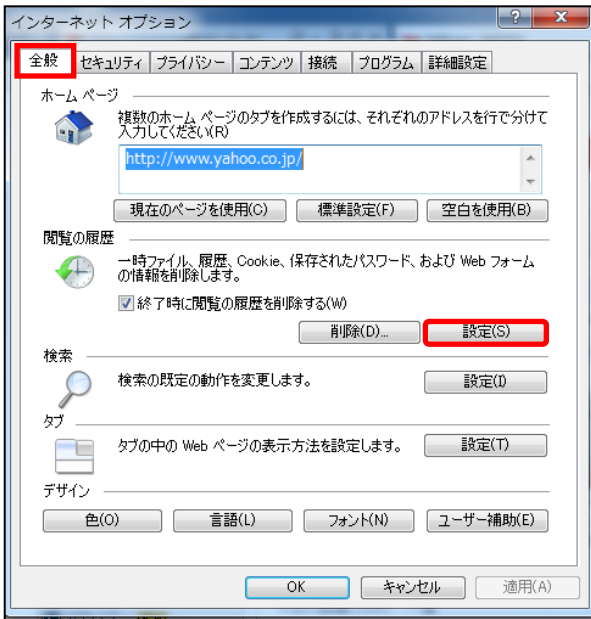
血液テーブルに表示しない検査の設定		
【0】 血圧(高)	【1】 身長	【2】 eGFR
【3】 BMI	【4】 体重	【5】
【6】 血圧(低)	【7】 体温(S)	【8】 体温
【9】 1/CR(X10)	【10】 脈拍	【11】 血圧A
【12】 血圧B	【13】	【14】

体重は血液のグラフセットに指定し、血液のグラフで経過を見るようにしてください。

※体重の変化をわかりやすくするために、グラフセットには体重変化という検査項目を登録するのが通常の方法となります。

Q64 血液グラフが、更新されず、同じものが表示されます。

IE[ツール]→[インターネットオプション]→[全般]→閲覧の履歴の[設定]で、”webサイトを表示するたびに確認するにチェック”に変更してください。



Q65 心電図ファイルが異常ですと出ます。

何らかの原因で、ファイリングされた心電図ファイルが空のファイルになったり、ファイルがなかったりすると表示されます。

心電図ファイルはサーバーの[Users¥rsn¥public_html¥ecg¥年]のフォルダにありますので、そのファイルに異常がないか確認をしてください。

Q66 心電図読み込みフォルダに“削除不能な心電図ファイルがあります。”と表示されます。

まれに、心電図ファイルが削除不能なファイルになり残ってしまうことがあります。それが残ると、そのファイルのファイリングを繰り返してしまいます。削除不能になったファイルはそのPCを再起動すると削除可能となります。

心電図を読み込むフォルダは、 (92) 本PCのFD(心電図を取り込むドライブ)のドライブ(A or ¥¥診察室¥A など)

のドライブに指定しているフォルダ内に、残った心電図ファイルがないか確認してください。

また、この“削除不能な心電図ファイル”というメッセージはサーバーの[public_html¥ecg_non_del.txt] というファイルを削除すると表示されなくなります。

Q67 CRを導入しRS_Baseへファイリングしましたが、検査名が英字になります。

RS_Receiver の設定で、検査名にどのタグ情報を使用するのか変更が可能ですが、それらはすべて英語になりますので、RS_Baseの基本情報の[(2)__自動読み込み検査名変更]で、読み込む検査名を日本語に変換することが可能です。

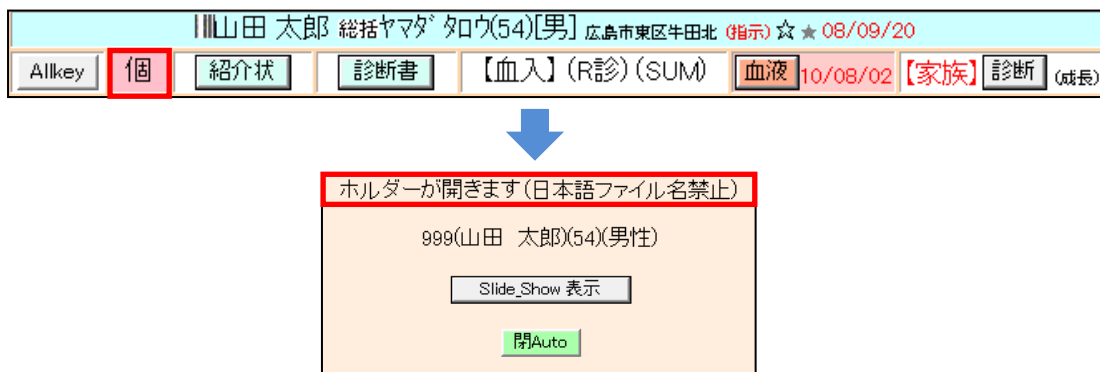
(2) 施設マップ __データID変換 __自動読み込み検査名変更



自動ファイル読み込み検査名の変更	
Carotid_Artery	→ 心エコー
	→
	→

Q68 SNAP (顔写真) を撮った患者さんのIDを間違えたので変更したいのですが。

snap をファイリングした患者さんの患者画面を開いて、患者情報の[個]→[フォルダが開きます(日本語ファイル名禁止)]をクリックするとフォルダが開くので、その中の[snap.jpg]がスナップ写真となりますので移動して変更を行ってください。



スナップ写真の保存方法

スナップ写真は患者様の顔写真を撮影し、RS_Baseの患者画面の右上に表示させる機能です。患者様から電話などがあり、画像や文字情報だけでは思い出せない場合など顔写真があると便利となります。(撮影は同意のうえ行ってください)

1. Gazouフォルダ(基本情報(99)のフォルダで通常はC:\gazou)に、スナップ写真をコピーします。

(99) (a) 画像を取り込むドライブ c ディレクトリー名(必要なら) gazou (3)

2. Snapをクリックするとファイリングメニューが表示されます。



3. 【登録後削除】をクリックするとファイリングされます。



4. ファイリングされたスナップ写真は患者画面のSide-Showの上部や患者画面など様々な画面で表示されます。

簡易 | 血液検査 | 所定検査 | 尿検査 | 検査結果 | レセ | ORオーダー | 血入力 | サマリ | 紹介状 | 家族 | 患者画面 | 血液 | 所 | 診 | サマリ | 受診歴 | 薬歴 | 血液1 | 血液7 | 血液9 | レテラ | 動物 | モバイル | ZONE

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][受診][書日][書全]
 [胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][EGG][CPX][PICO][EUB][B受][O][薬情][基本情報]

検査 年 10 数 50 検査表示 ID 検査表示 検査項目 検索 SV_CL 計 00
 検査ID 表示数 → 50 検索 山田太郎 検査項目 検査 登録mode 寛 30

ラナー 登録系 スケッチ 検査項目 50音検査 モバイル 全情報へ

計 紹介状 999 ID 一覧 登録情報 999 血液 検索 入力 読込 血List

検索 999 デジカメ 登録 2011 12 0 3 字

写真 size: 91 [2011/12/03] [ALLK] [薬添付] [情報] [住所] [再検] [受診日]

【多検索】【申込】【総診】【Psm】【薬Gr】
 【家族】【ORオーダー】【血】【肝】【血TX】

間: 5ヵ月 61才

O_Tools デイゴラ1 デイゴラall FukudaME SONIMAGE

個情	改	ID	なまえ	名_前(注)	年齢	性別	電_話(住所)
1	写真	999	ヤマダ タロウ	山田 太郎	61 (1949/12/14)	男性	広島県広島市東区牛田南1-7-5

Q69 様々な案内文章などをRS_Baseで管理することはできますか。

講演などのパンフレットは、スキャナーで [gazou] フォルダに [jpg] または、[pdf] としてファイルを読み込み、その後、RS_Base画面上部、右側の[書日]をクリックし、希望する日付をクリックすることにより、その日付に講演のパンフレットが保存されます。

講演当日になると、RS_Baseのトップ画面、および、RS_Baseの受付にその予定があることを知らせるメッセージが出ます。

Q70 所見やサマリーを書込はできますか。

レセコン + 紙カルテでも、重要なイベントが起こった場合には、RS_Baseに所見を記載しておくことで役立ちます。サマリーも、もちろん記入できます。

(注) RS_Baseでは電子カルテの三原則である「保存性」「見読性」「真正性」を担保しているものではありません。

所見の入力方法

1. SideShowの所小ボタンまたは基本情報(38)で行数を指定するとSideShowの入力コラムが表示されます。

【size: 9】【2011/12/03】
【ALLK】【薬添付】^{sns}
【情報】【住所】(イベント)
【再検】【描】【受診日】

【多検索】【申込】【総診】【Psm】【薬Gr】
【家族】【CRオーダー】【血】【肝】【血TX】

間: 5ヵ月 61才

本日イベント

所見3 所小 検索 RS診 イベント

(薬) 薬患

【所見】【処方】【サマリ】 病名(50音)

問診 OPQ 削除

RSBへ所見入力 2011/12/03

(38) 備忘録を2行にする no side_showに所見入力 10

サマリの入力方法

1. 患者画面の(SUM)にて入力が可能です。

地図		地図	1000	山田花子	36	男
山田 太郎 総括ヤマダ タウ(61)[男] 広島県広島市東区牛田南1-7-5 (指示) ☆ ★ 08/09/20						
Allkey	個	紹介状	診断書	【血入】(R診)	(SUM)	血液 10/08/02
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ Filing 机が診入
		診断(検索)		診断2	再	

Q71 RS_Baseから処方入力はできますか。

処方内容は、レセコン機能部分から、RS_Baseに出力するという連携になります。
※ 富士通、東芝などのレセコンは、連携が取れていないため出力できません。

Q72 メーリングリストに投稿しましたが配信されません。

- メーリングリストに登録されていないメールアドレスから送信している。
- メールの形式がhtml形式や添付ファイルがあると配信されません。

などが原因として考えられます。

Q73 メーリングリストの登録アドレスを変更したいがどのようにしたらいいですか。

medical-in@rsbase.net に現在登録中のアドレスおよび変更先メールアドレスを送信してください。
その他住所、医療機関名が変更になっている場合もご連絡ください。

Q74 メーリングリストのメールが受信出来なくなりました。

RS_Baseに登録してあるメールアドレスと同一のものではないと受信できません。
スパムメールと判定されサーバ側で拒否されている可能性もあります。

Q75 RS_Baseのメーリングリストは自分には高度すぎてついていけません。みていません。

すべてを読んで理解するのは難しいかと思しますので、Medical-Inからのお知らせ(バージョンアップアナウンスメール(★各種リンク★)やサポート料費用関連など)はご一読ください。

Q76 今まで自分で設定を行ってきたが本当にこれでいいのか、効率的なのか分かりません。

下記の説明動画を見ていただき比較をしてみてください。

- 患者画面簡易説明(WMV 動画)
<http://rsbase.net/version/pt1.zip> (19MB 14分)
<http://rsbase.net/version/pt2.zip> (19MB 14分)
- 血液表示説明(WMV 動画)
<http://rsbase.net/version/labo1.zip> (34MB 16分)
- 血液設定説明(WMV 動画)
<http://rsbase.net/version/labo2.zip> (37MB 17分)

Q77 本年の画像データベースの障害時の対応（例 2011年）

- ① [基本情報]の上部、[詳しい登録情報表示(Click Here)]をクリックして、本年の検査数が極端に少なくないか確認してください。（直近登録日、開始登録日なども確認してください。）

Go Back To RS_Base

詳しい登録情報表示(Click Here)



File	サイズ	直近連番(1)	開始連番(2)	検査数(1-2)	実検査数	直近登録日	開始登録日
(○)(☆)data2011.csv	694	47	43	5	5	2011/11/15	2011/10/14
(○)(☆)data2010.csv	1814	42	29	14	14	2010/10/01	2010/01/09
(○)(☆)data2009.csv	1575	28	17	12	12	2009/12/09	2009/04/09
(○)(☆)data2008.csv	815	16	11	6	6	2008/07/06	2008/04/13
(○)(☆)data2007.csv	261	10	9	2	2	2007/05/22	2007/05/17
(○)(☆)data2006.csv	919	8	2	7	7	2006/06/17	2006/01/08
(○)(☆)data2005.csv	116	1	1	1	1	2005/01/08	2005/01/08
(○)(☆)data2004.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2003.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2002.csv	0			0	0		
世代Back2011	1298	51	43	9	9	2011/10/14	2011/10/12

- ② 登録情報画面下部の[世代Back2011]の実検査数のカラムの数は、登録検査相応(つまり正しいバックアップ)であることを確認してください。

File	サイズ	直近連番(1)	開始連番(2)	検査数(1-2)	実検査数	直近登録日	開始登録日
(○)(☆)data2011.csv	694	47	43	5	5	2011/11/15	2011/10/14
(○)(☆)data2010.csv	1814	42	29	14	14	2010/10/01	2010/01/09
(○)(☆)data2009.csv	1575	28	17	12	12	2009/12/09	2009/04/09
(○)(☆)data2008.csv	815	16	11	6	6	2008/07/06	2008/04/13
(○)(☆)data2007.csv	261	10	9	2	2	2007/05/22	2007/05/17
(○)(☆)data2006.csv	919	8	2	7	7	2006/06/17	2006/01/08
(○)(☆)data2005.csv	116	1	1	1	1	2005/01/08	2005/01/08
(○)(☆)data2004.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2003.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2002.csv	0			0	0		
世代Back2011	1298	51	43	9	9	2011/10/14	2011/10/12

【2011年のデータベースを修復する場合】

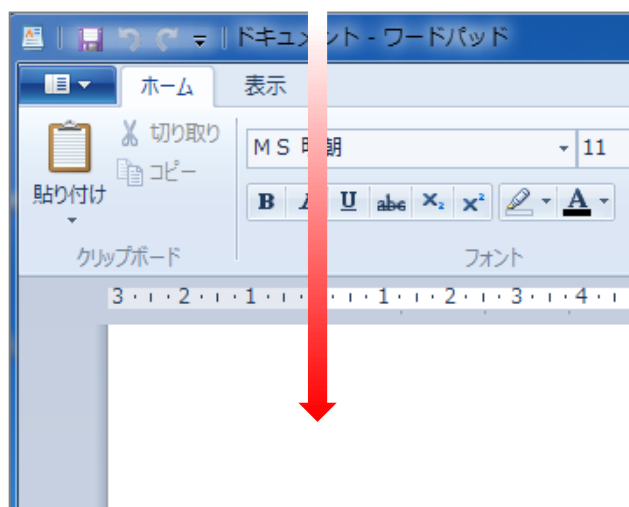
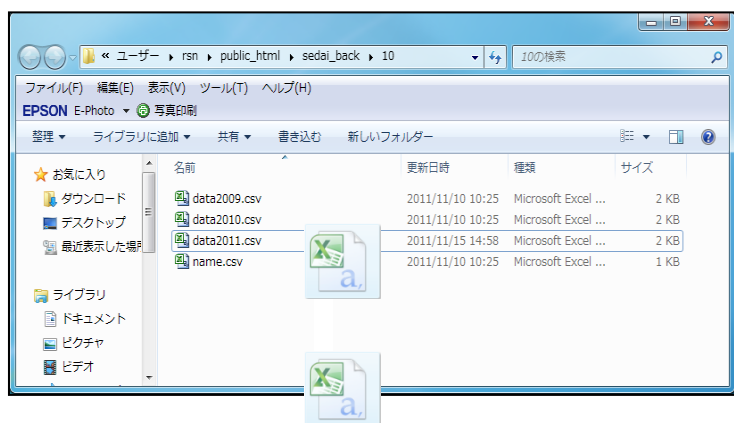
③登録検査数が相応であれば、その[世代Back2011]をクリックすると、フォルダが開きますので、[data2011.csv]をエクセルではなくワードパッドで開いて、登録検査が1月から前日まで、抜けた月などないか確認をしてください。

※ワードパッドの開き方

ワードパッドは、[スタート]ボタン  →[すべてのプログラム]→[アクセサリ]→[ワードパッド]を選択します。

File	サイズ	直近連番(1)	開始連番(2)	検査数(1-2)	実検査数	直近登録日	開始登録日
(○)(☆)data2011.csv	694	47	43	5	5	2011/11/15	2011/10/14
(○)(☆)data2010.csv	1814	42	29	14	14	2010/10/01	2010/01/09
(○)(☆)data2009.csv	1575	28	17	12	12	2009/12/09	2009/04/09
(○)(☆)data2008.csv	815	16	11	6	6	2008/07/06	2008/04/13
(○)(☆)data2007.csv	261	10	9	2	2	2007/05/22	2007/05/17
(○)(☆)data2006.csv	919	8	2	7	7	2006/06/17	2006/01/08
(○)(☆)data2005.csv	116	1	1	1	1	2005/01/08	2005/01/08
(○)(☆)data2004.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2003.csv	0			0	0		
(○)(☆)data2002.csv	0			0	0		
世代Back2011	1298	51	43	9	9	2011/10/14	2011/10/12

【2011年のデータベースを修復する場合】



※ [data2011.csv]のファイルをマウスの左ボタンを押しながら、ワードパッドまで移動し、マウスの左ボタンを離すと、ファイルが開きます。(drag&drop)

バックアップが正しい様であれば、その修復方法は、

- ① 最初に【[ここをクリック](#)】して現在のデータベースをサーバーの public_html¥year_back 内にバックアップします。
- ② 2011 年のバックアップデータベースをサーバーにコピーする。【2011 Open BackupFile(時)】
- ③ 2011 年のリンク切れフォルダをチェックします。(Click Here: 画面が移動します。)

と順番にクリックすると画面が変わりますので、その画面で、

- ④ 【[リンク切れ\(赤\)](#)を data2011.csv に追加】: Click Here をクリック後
- ⑤ →その後 ID関連付 をクリックして、一応データ修復完了となります。

① 最初に【[ここをクリック](#)】して現在のデータベースをサーバーの public_html¥year_back 内にバックアップします

時間世代バックアップのデータベースをサーバーにコピーする場合は、念のため、下記の【Open BackupFile】をクリックして、その内容を確認後、[バックアップをサーバーにコピーする](#)をクリックしてください。

② 2011 年のバックアップデータベースをサーバーにコピーする。【2011 Open BackupFile(10 時)】

上記で、本年のデータベースを回復後、次に、直近にファイリングされたデータベースに存在しない画像を確認するため下記をクリックしてください。

③ 2011 年のリンク切れホルダーをチェックします(Click Here: 画面が移動します。)

データ障害が 本年以外の場合は、下記にて自動バックアップから回復後、[【ID関連付け】](#)を行ってください。

【Open オリジナル】 [2010 年のバックアップをサーバーにコピーする](#)【2010 Open BackupFile(10 時)】

【Open オリジナル】 [2009 年のバックアップをサーバーにコピーする](#)【2009 Open BackupFile(10 時)】

[【Go To 基本情報 \(Click Here\)】](#)

【世代バックアップホルダー】
C:/Users/rsn/public_html/sedai_back(Click)

日別バックアップデータファイルホルダー(Click here)

なお、自動バックアップのデータベースも異常な状態な場合は、

クライアントの[public_html¥backup]
クライアントの[public_html¥sedai_back]
サーバーの[public_html¥year_back]

あたりのデータから、[data2011.csv] を再構築した後(データは日付などで並び替える必要はありません)サーバーの[public_html¥data2011.csv] に上書きした後、ID関連付けを行ってください。

ディレクトリ構造:PC側で受けるディレクトリを仮にDドライブの GIF と設定し、IDを80とすると、下記の様な感じになります。

D:¥GIF¥DCIM¥20100521_124232_80¥DSC00001.JPG

【読み込み方法 (jpg ファイルのみ可能)】

基本情報で指定した内視鏡読み込みフォルダに、[FUJI_FTP]というフォルダを作ります。

D:¥GIF¥

--- DCIM # このフォルダは、内視鏡が画像が保存されます。

--- FUJI_FTP

という感じになります。

読み込み先指定は、基本情報の[(95)本PCのMO(内視鏡画像を取り込むドライブ)のドライブ]で[D:¥GIF]などと指定します。

読み込みは、RS_Base 2行目あたりの、[胃内視鏡] をクリックすると、ファイリングする画像を[gazou]フォルダに自動読み込みファイルとして出力します。

上記、出力が終了すると、そのIDリストを表示した下に【RS_Baseに読み込みをさせます:Click Here】が表示されますので、それをクリックするとファイリングされます。

2種類のフォーマットがあるようです。

PENTAXの内視鏡は、[PENTAX]というフォルダに保存されるようですが、下記二つのフォルダフォーマットがあるようです。

PENTAXフォルダがDドライブと仮定した場合は下記のようになります。

(注)下記、(ユーザーがフォルダを作成する必要あり)のフォルダは医療機関で作成してください。

① d:¥PENTAX

----ID1 ホルダ --画像ファイル

----ID2 ホルダ --画像ファイル

----PENTAX2 ホルダ (ユーザーがフォルダを作成する必要あり)

基本情報の[(95)本PCのMO(内視鏡画像を取り込むドライブ)]のドライブの指定は、[d:¥PENTAX]としてください。

② 今まで、対応していたもの。

d:¥PENTAX

----日付1

----ID1 ホルダ--画像ファイル

----ID2 ホルダ--画像ファイル

----日付2

----ID3 ホルダ--画像ファイル

----ID4 ホルダ--画像ファイル

----日付3

----ID1 ホルダ--画像ファイル

----PENTAX ホルダ(ユーザーがフォルダを作成する必要あり)

のように[PENTAX]の直下のフォルダは、日付フォルダがありその下に、その日に内視鏡を施行した患者IDがあるもの

この場合も、基本情報の[(95)本PCのMO(内視鏡画像を取り込むドライブ)]のドライブの指定は、[d:¥PENTAX]としてください。

(注)[d:¥PENTAX¥PENTAX フォルダ]あるいは[d:¥PENTAX¥PENTAX2 フォルダ]は、フォルダフォーマットを見ていただき各先生で作成していただく必要があります。

読み込みは、RS_Base上部の [胃内視鏡]などをクリック後、【RS_Baseに読み込みをさせます:Click Here】をクリックすれば、読み込み完了します。

読み込み前の元画像は、作成いただいた[PENTAX] あるいは[PENTAX2 フォルダ]に移動されます。

Q80 命日表示、備忘録などに関して

- ① 死亡、命日の表示は、当該患者さんの患者情報ファイル[name.csv]を利用する場合は、患者情報のどこでもいいので (ダイナミクスでは TEL2 などに)、[死亡]あるいは[死亡(2007/03/12)]という情報を記載してください。

[死亡]で入力すると、RS_Base患者画面の家族欄に (+) と表示され、[死亡(2007/03/12)]で入力すると家族欄にその日付が表示されます。

- ② 備忘録の命日に関しては、下記の方法があります。
(死亡された患者さんの備忘録ではなく、受診をされている患者さんの備忘録に記載)

【 備忘録の記入例 】

主治医意見書記載必要/ご主人命日(2006-5-20)/胃手術(2001-1-21)

上記記載にて、指定日の2週間前後には、RS_Baseの患者画面最上部に、[ご主人命日(2006-5-20)/胃手術(2001-1-21)]の情報が出ようになります。

記載フォーマットは /タイトル(日付) というフォーマットとなります。

さらに、[主治医意見書記載必要/ご主人命日(2006-5-20a)/胃手術(2001-1-21)]の様に、日付の後ろに、a (always) を追加した場合は、患者画面でその内容が常に上部に表示されるようになります。

たとえば、RS_Baseの備忘録に下記の様な記載をすると、半年ごと眼科受診/ご主人命日(2006-5-20a)/PSA再検(2011-8-10a)

ご主人命日(2006-5-20a) PSA再検(2011-8-10a)が患者画面上部に常に表示されます。

Q81 内視鏡、超音波の読み込み検査名の変更方法

基本情報、「説明・検査・カレンダー」ボタンの、

The screenshot shows a software interface with various buttons and settings. The button '説明・検査・カレンダー' is highlighted with a red box. Other buttons include '検査項目', 'CPX150読み込み項目', '照射録', '検査内病名検索既定値', 'ID関連付', '検査全体', '病院登録', '医師登録', '紹介先', '紹介科', '部署', '紹介ヘッダ', '診断書例文', '患者検索既定値', '診断名一括登録', '他院紹介状', 'LDL・Cr・HbA1cの設定', '検査用画像ホルダー設定', 'レントゲン分割', 'Dicomshot項目名', '個別患者病名の設定', '検査リスト表示順(table)', 'サムネイル画像の指定', '患者サマリの選択名の登録', '往診読込患者', and '保存書庫変更'.

登録検査(MOからの自動読み込み名)決定で、登録検査名の変更、追加が可能です。

The dialog box titled '登録検査(MOからの自動読み込み名)決定' contains a table with two columns. The first column lists '胃内視鏡', '腹部エコー', and '心エコー'. The second column is empty.

登録検査(MOからの自動読み込み名)決定	
胃内視鏡	
腹部エコー	
心エコー	

Q82 トップ画面に20件しか検査が表示されない

[gazou]フォルダにファイリングができなくなった異常ファイルが残っていると、20件の検査しか表示されなくなりますので、その異常ファイルを[gazou]フォルダから移動、または削除してください。

Q83 体重の変化がグラフにてわかりにくいので、もう少し差が出るように表示したい。

RS.Baseでは、検査項目が[体重]であっても、グラフセットとして[体重変化]という項目を設定すると、体重の変化がわかりやすくなります。

たとえば、グラフセットに
体重変化
ヘモグロビンA1C

とセットを組むと、体重の変化がよりわかり易くなります。
なお、グラフセットで体重変化という項目は既定で設定されています。

ダイナミクスの[血圧1]ボタン、あるいは、患者カルテのR血の横の[血圧]ボタンをクリックして、RS_Baseに表示するメリット、デメリット

《メリット》

- ① 血圧と投薬の関係が確認できます。
- ② グラフの横軸は時間軸になっており、血圧の季節変動がわかりやすいです。

《デメリット》

- 1) 血圧を読み込み後、そのグラフを表示するまでに5秒程度かかります。

【 方法 】

- ① 今までダイナミクスの血圧、体重などを、RS_Baseに出力しておらず一括で出力する場合。
[\[Q31.ダイナミクスの血圧データをRS_Baseに一括出力する方法\]](#)を参照してください。
 ※読み込みは時間がかかりますので、診療時間外に行ってください。
 - ② 一週間分をまとめて出力する場合。
 RS_Base用mdb のリンクバー[血圧7]をクリックします。
 (患者毎の出力を忘れているときがあるので、これを週に1-2回施行してください。)
 ※読み込みには時間がかかります。
 - ③ 患者毎の血圧出力について
 [基本情報]→[(60) (b) ダイナ血圧出力を当該患者のみとする]を「on」してください。
 [基本情報]→[(60) (b) ダイナ血圧出力後の表示セット]に、血液グラフセットに血圧、体重を指定したセットを指定してください。
 ダイナミクスの場合、血圧(高)、血圧(低)、体重変化、脈拍を指定してください。
 (グラフセット登録で、初期表示数を「2」とすれば、血圧のみの表示されます。)
- 以上の状態で、リンクバーの血圧1、あるいは、RS_Base用mdb の、R血の横の 血圧ボタンをクリックすると、ダイナミクスの血圧が、RS_Baseに反映され、その後血圧のグラフが表示されます。
- (注) 血圧1 血圧ボタンをクリックするときは、マウスカーソルは、血圧、体重などの入力カラム外においてからクリックしてください。
 マウスカーソルが入力カラム内にあると、血圧などのデータは確定しません。
- (注) 体重のグラフは、セットに登録するときは、体重の項目名に関係なく「**体重変化**」としてください。
 体重変化を指定すると、体重の変化を増幅してグラフ表示します。
 (これは、RS_Base入力した体重のデータも同様です)
- ④ 血圧等のデータを血液テーブルに非表示にする。
 体重、血圧などが血液テーブルに表示されますと、そればかり表示され、血液データがまともに見れなくなりますので、[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[完全非表示血液]で、非表示設定にしてください。

Q85 血液データを検索する方法を教えてください。

[基本情報]→[(50) 血液検索データを自動更新する]を、診察室のPCで設定している場合は、毎日1回検索用のデータが追加更新されます。

検索の画面は、RS_Baseトップ画面の [検索] をクリックしてください。

計 N1H1予防 999 ID 一覧 登録情報 999 血液 **検索** 入力 血List

(注) [基本情報 (50)] の指定をしていない場合は、血液検索画面の【高速血液系検索】Data Folder]の [Data Folder] をクリックして開いたフォルダにデータがないため、[★高速検索用データ追加 Click Here] をクリックしてください。検索用データが作成されます。

※1ヵ月あたり1-2分程度かかるため、データ作成は診療時間外に行ってください。

【高速血液系検索】Data Folder
★高速検索用データ追加 Click Here (最終データ2012年02月01日)(1ヵ月あたり1-4分)

2012 年 から 検索をする 検索結果に年齢表示 yes 複数回データ表示 no 検索月指定 ソート 数値

(AND 検索) (AND)

複合検索(同一日) 検査値: 以上 OR検索 データ: 以上

病名 投薬

(+) の項目は、0.1以上 で検索してください。

実際の検索方法

1. [血液検索画面]の【高速血液系検索】の下部の、

- ①[検索年]を指定。
- ②[検査項目]を指定。
- ③[検査値:] を入力。(例)100以上
- ④[複数回データ表示] 「no」または「yes」を選択。
※「no」を選択すると、同一患者では直近のデータのみ表示となります。
- ⑤[ソート]日付を選択。

①～⑤を入力後に、「検索結果に年齢表示」の左にある[検索をする]をクリックすると、指定検査の、年齢、性別データの集計テーブル、および、年齢、数値の散布図グラフが表示されます。

【高速血液系検索】Data Folder
★高速検索用データ追加 Click Here (最終データ2012年02月01日)(1ヵ月あたり1-4分)

2010 年 から 検索をする 検索結果に年齢表示 yes 複数回データ表示 no 検索月指定 ソート 日付

(AND 検索) HDL-C(ミリモル) (AND)

複合検索(同一日) 検査値: 100 以上 OR検索 データ: 以上

病名 投薬

(+) の項目は、0.1以上 で検索してください。

2. 表示された[年齢別集計]、[グラフ] の下部の[CSV表示] をクリックすると、抽出された数値データが表示されますので、エクセルや統計ソフトなどで利用してください。

(A)【BMIが(100)以上】 **【CSV表示】** 【患者血液データ作成】

病名に関して

(例)

ヘモグロビンA1Cなど、検診などの方もおられ、自院での「糖尿病の方」のみのデータを集計する場合は、RS_Baseの病名欄に、「糖尿病を」入力し、RS_Base患者画面の[病名登録ボタン]右横の[病名検索]カラムで、「糖尿病」を検索します。

その後、上述[1. 血液検索画面]の[検索カラム]左の、[病名]のところにチェックをいれて、同様の検索を行うと、RS_Baseにて糖尿病という病名がついた方のデータのみ抽出されます。

注意書き		注意【○】	【血2】	S31/12/14
糖尿病		病名登録	糖尿病 検	備忘全
(10年10月07日)【重要】肺炎球菌ワクチン、ペニシリン禁、卵アレルギー		備忘登録	【重要】	削除 【メモ】



★高速検索用データ追加 **【高速血液系検索】** Data Folder (最終データ2012年02月01日)(1ヵ月あたり1-4分)

2012 年 から 検索をする 検索結果に年齢表示 yes 複数回データ表示 no 検索月指定 ソート 数値

(AND 検索) [] (AND) []

複合検索(同一日) 検査値: [] 以上 OR検索 [] データ: [] 以上

病名 投薬

(注)【高速血液系検索】画面の【オリジナル項目】はクリックするとメモが開きますので、よく検索する検査項目を登録しておく、検索項目の選択枝の最上部に表示されます。

【項目優先メニュー】 **【オリジナル項目】**



menu.dat - メモ帳

ファイル(F) 編集(E) 書式(O) 表示(V) ヘルプ(H)

1/CR(X10)
A-Lympho
BMI
BNP
Baso
C-ア*ア*ア* (前)
CUT_OFF
DAS28_CRP

Q86 ダイナミクス用の【写真付薬情】の設定方法について

■写真付き薬情の表示

side_show 薬歴の日付表示や、RSB診療の【薬情表示】、ダイナミクス患者カルテの【R薬ボタン】のクリック等で表示されます。

■薬の写真の用意

薬の画像は必須ではありませんが、12桁の薬のコードで、サーバーの[Users¥rsn¥public_html¥drug_photo]フォルダにコピーします。

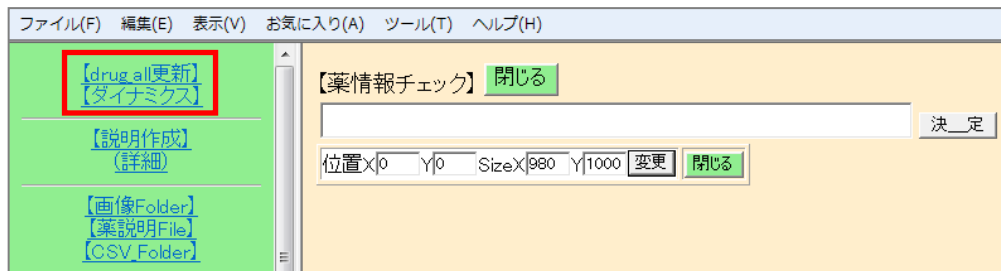
[Users¥rsn¥public_html¥drug_photo¥1124003F3083.jpg]

[Users¥rsn¥public_html¥drug_photo¥1124003F1021.jpg] など。

■用法、薬のマスターファイル(drug_all.csv) の作成

RS_Base連携可能 mdb が立ち上がっている状態で、RS_Base 2行目、【薬情】クリックした画面、左上の【drug_all更新】【ダイナミクス】部分をクリックしてください。薬情の表示に必要な薬のマスター [drug_all.csv] と[用法マスター 用法.txt] が作成されます。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP].[患選] [C1] [C2] [C3] [C4] [C5] [受D] [書日] [書全]
[胃内視鏡][腹部エコー] [心エコー] _[ECG][CPX][?][PICO][EUB][B受] [受DY] [O][File][薬情][基本情報]



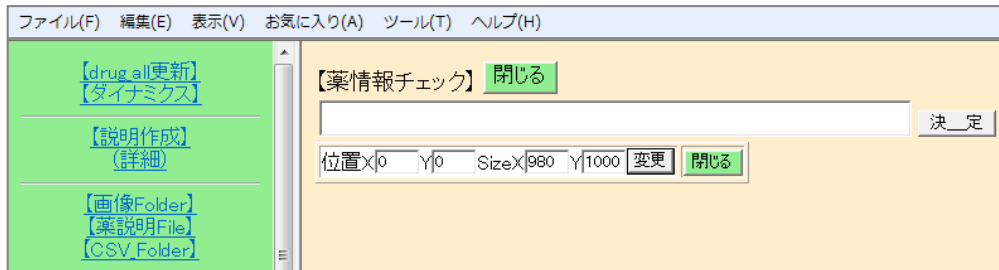
(注) [用法.txt] は、ダイナミクスの用法変換Tテーブルのデータから作成されます。用法は複雑な用法には対応できておりません。

[用法変換Tテーブル]は、各診療所にて変更していただく必要がありますが、オリジナルのまま動作を確認してみてください。

■薬の説明

RS_Base 2行目の【薬情】クリックした画面の、【説明作成】にて、説明を登録し、登録ボタンをクリックします。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受D][書日][書全]
 [胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][ECG][CPX][?][PICO][EUB][B受][受DY][O][File][薬情][基本情報]



登録						
No	薬名		薬価	説明	注	分類
1	エンペラシン錠 (添付文 file)	錠	6.1	<input type="text"/> 簡説 <input type="text"/> 登	<input type="checkbox"/>	常用 <input type="checkbox"/> 最大 <input type="checkbox"/> 処方日 <input type="text"/>
2	ガスター散2% (添付文 file)	g	68	胃酸や胃液に含まれる消化酵素の分泌を抑え、胃・十二指腸潰瘍や胃炎を治療します。又、逆流性食道炎等も治療するお薬です。 <input type="text"/> 簡説 <input type="text"/> 登	<input type="checkbox"/>	常用 <input type="checkbox"/> 最大 <input type="checkbox"/> 処方日 <input type="text"/>

ダイナミクス：用法変換Tテーブルの変更（必要に応じて）

[column]のタイトルは、UN 元CD 先CD メモとなっていますが、UN 行 元CD は、コード、先CDはじほう社で使用される、用法コードメモがダイナミクスでの実際の用法になっています。
じほう社のコードがわからないものは、一日3回の場合は300番台を指定、2回の場合は200番台を指定するなど重複しないようにしてください。
内服頓用は最初が0番、外用は最初がアルファベットで、3桁で作成となります。

オリジナルは、下記になっています。

UN 元CD 先CD メモ

1 1 334 1日3回毎食後
2 2 248 1日2回朝夕食後
3 3 104 1日1回朝食後
4 4 116 1日1回夕食後
5 5 333 1日3回毎食前
6 6 337 1日3回毎食間
7 7 120 1日1回眠前
8 8 409 1日4回毎食後眠前
9 9 110 1日1回昼食後
10 10 324 1日3回 朝、夕、寝る前
11 11 105 1日1回食間
12 12 237 1日2回食間
13 13 103 1日1回朝食前
14 14 115 1日1回夕食前
15 15 236 1日2回朝昼食後
16 16 103 1日1回朝食30分前
17 17 235 1日2回朝昼食前
18 18 247 1日2回朝夕食前
19 19 221 1日2回朝・就寝前
20 20 004 発熱時
21 21 014 頭痛時
22 22 022 不眠時
23 23 002 痛い時
24 24 021 痒い時
25 25 013 腹痛時
26 26 015 胸痛時
27 27 016 発作時
28 28 009 便秘時
29 29 001 浮腫時
30 30 007 発熱・疼痛時
31 31 004 発熱時(1日3回まで)
32 32 001 2回_医師の指示どうり
33 33 001 医師の指示通り(内服)
35 35 B25 患部へ塗布 1日
36 36 B06 医師の指示通り(外用)
37 37 B07 患眼へ点眼 1日
41 41 B11 発熱時(外用)
42 42 B12 痛みが強い時
43 43 B13 不安が強い時
38 38 B08 発作時 吸入
39 39 B09 肛門へ挿入 1日
40 40 B10 うがい 適量にうすめ 1日
100 100 107 一日一回朝食中
102 102 109 一日一回昼食前

Q87 タブレット端末でのRS_Baseの使用方法について

- ① RS_Baseのサーバー、トップ画面の、下部の【設定メニュー】で、左上の MB_Cal の背景が白い場合は、そこをクリックして黄色くしてください。

【設定メニュー】

基本	MB_Cal	Head_dell	機能追加	閲覧専用	簡易表示	小説明画	検査項目	診断小	カレンダー
NEXT	○名	患者読(短)	病名置換	矢印非表示	メモ非表示	病名非表示	患選表示	非表示194-5	全簡易
統計	グラフセット	非表示検査	指定検査	経過時間	スケッチ	日付入力	ランチャー	プロブレム	登録系

これで、モバイル画面にキーボード入力をしなくても、50音で患者検索ができるようになります。これが不要であれば、MB_Cal は背景を白くしておいても、必要に応じてモバイル画面上部の【50音】をクリックすると、50音検索のパーツが表示されます。

- ②タブレット端末が院内LAN にて、Wifi で入っていける状態だとして、端末からは、

http://サーバーIP/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart
 (例) http://192.168.50.1/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart

にアクセスすると、モバイル用の RS_Baseが表示されます。
 表示されたURLはお気に入りに登録しておいてください。

(注) Second Server がある場合は、サーバーIPではなく、どこかのクライアントのIPでアクセスすれば、Second Server の検査歴も表示されます。

(注) タブレットで、[http://サーバーIP/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart]をタイプするのが難しい場合は、タブレットに上記URLを記載したメールを送信して、メーカーから立ち上げてください。

使用方法

立ち上がったモバイル版RS_Baseの使い方は、通常のRS_Baseと似たようなものですが、上部の【受付】をクリックすると、本日の受診患者が表示され、患者名タップにてその患者画面になります。

<input type="text"/>	ID	<input type="text"/>	患検	【登録】	【50音】	【受付】	通常
薬検索(and)		<input type="text"/>					

14	10:16	山田 太郎	14981	37	1
14	10:16	田中 次郎	14980	35	2
14	10:16	佐藤 明子	14979	37	3

また、上部の【50音】をクリックすると、50音の検索メニューが出るので、50音にタップして患者を探すこともできます。

(RS_Baseの受付に、50日間で受診歴のある方のみ)

Search menu with fields for ID, 患検, and buttons for 登録, 50音, and 受付. A search box labeled 薬検索(and) is below. The 50音 button is highlighted with a red box.



Search menu with the 50-syllable grid highlighted in red. The grid contains the following characters:

あ	い	う	え	お	は	ひ	ふ	へ	ほ
か	き	く	け	こ	ま	み	む	め	も
さ	し	す	せ	そ	や		ゆ		よ
た	ち	つ	て	と	ら	り	る	れ	ろ
な	に	ぬ	ね	の	わ				A

上部の【登録】をクリックすると、登録のメニューや、説明画像がでますが、必要とされるシーンは多くないでしょう。

Search menu with fields for ID, 患検, and buttons for 登録, 50音, and 受付. A search box labeled 薬検索(and) is below. The 登録 button is highlighted with a red box.



Registration menu with various options and a calendar. The 登録 button is highlighted in red. The menu includes options like 電卓, KeyBoard, OTHEO, 不整脈, 伝染病, 辞書, 添付文書, 医学URL, 妊婦と薬, サブリ, 心電図, めまい, Top, ←B, N→, ←No, NIHT1予防, ID, 一覧, 登録情報, 血液, (361) 検索, 入力, 血List, 英和辞(検), (a), ID, デジカメ, 登録, 2012/04/19, 字, (診断), 注, 施行, 部署, and a grid of checkboxes for various medical services. A calendar for April 2012 and a clock are also visible.

なお、心電図のviewer や、Dicom は表示されません。

QRコードを読み込んで表示させる方法

Windows/パソコンのRS_Baseの5-6行目の[モバイル]をクリックすると、QRコードが表示されますので、そのQRコードをタブレットPCで読み込んで、URLにアクセスするという方法もあります。

モバイル用表示のTOPですが、通常はサーバーIPでのアクセス

http://サーバーIP/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart

(例) http://192.168.50.1/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart

というURLになりますが、サーバーの[public_html¥qr.jpg]として、上記URLの[QRコード]を置いていただければ、それがモバイル画面に表示されるようになります。

- ① http://qrcode.jp/ で、[http://サーバーIP/~rsn/2000.cgi?rs_base=smart]のURLの[QRコード]を作成し、右マウスクリックし、対象ファイルを[ファイル名 qr.jpg]として保存してください。

自分用のQRコードを簡単に作成できます(無料)。
コード内に入れたい文字を入力してください。
(1,500文字まで書き出せます)

http://192.168.50.1/~rsn/2000.
cgi?rs_base=smart

サイズ: 2 色: 白

QRCode生成!



右click



② [qr.jpg]を保存後、サーバーの[Users¥rsn¥public_html¥qr.jpg]としてコピーしてください。

③RS_Baseの[モバイル]をクリックすると、QRコードが表示されます。

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][c1][c2][c3][c4][c5][受d][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー]_[ECG][CPX][?][PICO][EUB][B受][受DY][O][File][薬情][基本情報]

検査	年 10	数 50	日付順新	検索表示	ID	検査表示	検査項目	検索	SV_CL	計画	
患登	表示数 → ↑	50	ID降順	抽検 71	ID	患者表示	検査 / 血抽	病説	検索	登録mode	覚書

- 小画像 - - 50音検索 - **モバイル** - [全情報へ] -





ID 患検 通常

薬検索(and)

Q88 RS_Baseの各検査項目登録数の表示方法について

【 年別 】

RS_Baseの各検査項目登録数を知りたい場合は、検査名にチェック☑を入れて、IDを入力せずに、登録ボタンをクリックすると、当該検査の年別の検査数が表示されます。

英和辞 (検)	(b) (a) <input checked="" type="checkbox"/> ID	個人情報	登録	2012/06/04	字																																							
- 2012年06月 - <table border="1"> <tr><td>日</td><td>月</td><td>火</td><td>水</td><td>木</td><td>金</td><td>土</td></tr> <tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td><td>5</td><td>6</td><td>7</td><td>8</td><td>9</td></tr> <tr><td>10</td><td>11</td><td>12</td><td>13</td><td>14</td><td>15</td><td>16</td></tr> <tr><td>17</td><td>18</td><td>19</td><td>20</td><td>21</td><td>22</td><td>23</td></tr> <tr><td>24</td><td>25</td><td>26</td><td>27</td><td>28</td><td>29</td><td>30</td></tr> </table>		日	月	火	水	木	金	土						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	紹 Snap <input type="checkbox"/> 血液LIST <input type="checkbox"/> 健診用紙 <input type="checkbox"/> インフルエンザ <input type="checkbox"/> 他院返事 <input type="checkbox"/> 他院紹介状 変更 <input type="checkbox"/> 胸部写真 <input type="checkbox"/> 腹部エコー <input type="checkbox"/> 心電図 <input type="checkbox"/> 当院検診 <input type="checkbox"/> 心エコー CPU <input type="checkbox"/> 頭部CT <input type="checkbox"/> 紹介状 <input type="checkbox"/> 負荷心ME <input type="checkbox"/> 尿沈渣 <input type="checkbox"/> 胃内視鏡 診断 <input type="checkbox"/> 検尿沈査 <input type="checkbox"/> 腹部写真D <input type="checkbox"/> 胸部写真D <input type="checkbox"/> オージオRS <input type="checkbox"/> 紹介の返事 病図 <input type="checkbox"/> 診断書用紙 <input type="checkbox"/> 健診用紙 <input type="checkbox"/> 頭部MRI <input type="checkbox"/> 頭部MRA <input type="checkbox"/> 胃透視
日	月	火	水	木	金	土																																						
					1	2																																						
3	4	5	6	7	8	9																																						
10	11	12	13	14	15	16																																						
17	18	19	20	21	22	23																																						
24	25	26	27	28	29	30																																						

【 月別 】

検査の月別検査数は、RS_Base下部の【設定メニュー】→統計とクリックし、表示された画面の検査結果表示をクリックします。

※グラフ化などは、血液と同様、その検査項目名クリックで月別の検査数が表示されます。

【設定メニュー】

基本	MB_Cal	Head_dell	機能追加	閲覧専用	簡易表示	小説明画	検査項目	診断小	カレンダー
NEXT	○名	患者読(短)	病名置換	矢印非表示	メモ非表示	病名非表示	患選表示	非表示1945	全簡易
統計	グラフセット	非表示検査	指定検査	経過時間	スケッチ	日付入力	ランチャー	プロブレム	登録系

(/)

(2012)(1) | (2011)(4) | (2010)(14) | (2009)(12) | (2008)(6) | (2007)(2) | (2006)(7) | (2005)(1) | (2004)(0) | (2003)(0) |

結果表示

①ダイナミクスとの画面自動連携

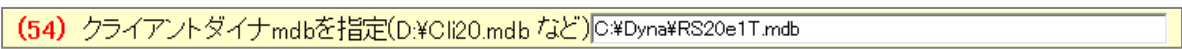
RS_Base用mdbをダイナミクスHPよりダウンロードして、サーバーmdblにリンクして使用します。
RS_Base用Tバージョンを利用。

(注)RS_Base用mdbを最新のダイナミクスのバージョンにする場合は、カスタマイズ用のバージョンアップで行ってください。

○[RS_Base基本情報]→[(9)(A)xmlHttp_id3 ID連携をする]を「yes」とします。



○[(54) クライアントダイナmdbを指定]にクライアントmdbを指定します。



(注)Nバージョンは、(9)を「no」に指定しますが、連携の切り替えの説明が複雑なため今回は、Tのみ記載します。

画面自動連携は、2画面あるいは30インチディスプレイが基本で、ダイナミクスの受付クリックなどで、ダイナミクスの診療画面あるいは所見画面を開くと、RS_Baseの画面もその患者画面に変わります。

②R検、R血 (主にシングルディスプレイ用)

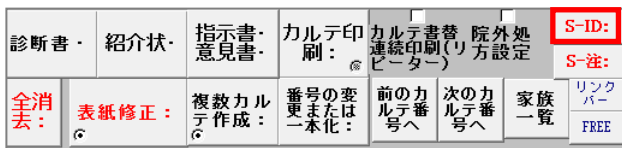
RS_Base用mdbのダイナミクス患者画面の上部の[R検]をクリックするとRS_Baseの患者画面が、[R血]をクリックすると血液画面が開きます。



③ダイナミクスの患者情報を読み込み方

a) 手動による読み込み

RS_Base連携用ダイナミクスmdbの患者表紙の[S-ID:]ボタンをダブルクリックした後、RS_Baseの画面をリロードすると、赤い文字で「C:/RSB_TEMP/Dyna_RS.txt(ダイナミクス)からの患者情報を取得しました。」と表示され、ダイナミクスから患者情報の読み込みが完了します。



(注)[S-ID:]は、ダイナミクス、スタート画面、メンテナンス、初期設定内の、[RS_Base Send ID]にチェックが入っている必要があります。
(RS_Base用mdbでは、既定としてチェックが入っています)

b) 患者情報自動読み込み

RS_Base基本情報の設定

[(60) web 受付から新患自動登録]を「on_add」に、[B受付にダイナミクスのデータを反映]を「on」に指定してください。

(60) web受付から新患自動登録 on_add B受付にダイナミクスのデータを反映 on

以上で、RS_Base用ダイナミクスmdb を立ち上げている状態で、

[B受]: BOX受付 (http://localhost/~rsn/R_uketuke.cgi)

[O]: Web受付 (http://localhost/~rsn/uketuke.cgi)

[説明画像1][説明画像2][説明画像3][説明画像4][説明画像5][画TP][患選][C1][C2][C3][C4][C5][受D][書日][書全]
[胃内視鏡][腹部エコー][心エコー][ECG][CPX][PICO][EUB][B受][受DY][O]File【薬情】【基本情報】

のいずれかを立ち上げておくと(最小化でも可)、新患は自動的に登録されます。

(注) 患者情報が変更になった方は、自動登録では反映されませんので、月に一度程度は、[S-ID:]にて手動読み込みをしてください。

(注)

・[web受付]はダイナミクス専用の受付。

・[BOX受付]はダイナミクスとの連携、他のレセコン、電子カルテとの連携のいずれでも使用可能です。

※ダイナミクスにとっての両者の違いは、BOX受付には、過去の日付の受け付けを表示するカレンダーがあるのが主な違いです。

④ダイナミクスの診療情報をRS_Baseに読み込ませる。

診療後、ダイナミクスでその日の診療を2号用紙へ書き込むために診療支援→【カルテ書込:】を行うと、診療情報がテキストで出力されます。出力された診療情報は、同じパソコンの[web受付]あるいは[BOX受付]を立ち上げるか、リロードするとRS_Baseに読み込まれます。

診療内容をすぐに RS_Baseに反映させたい場合は、ダイナミクスの所見画面の【書込】を行った後、[web受付]あるいは[BOX受付]をリロードすると、その患者の診療情報がRS_Baseに読み込まれます。

(注)ダイナミクスでは、患者毎の【書込】は推奨していません。

⑤ダイナミクスの血圧、体重をRS_Baseに読み込ませる。

[RS_Base基本情報]→[(60) (b) 血圧のグラフセット]に血圧のグラフセット番号を指定し、

[(60)ダイナ血圧出力を当該患者のみとする]を「on」に指定します。

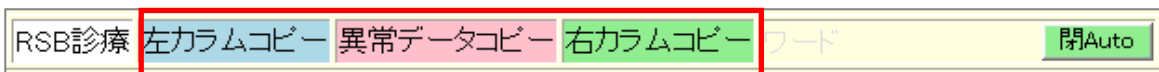
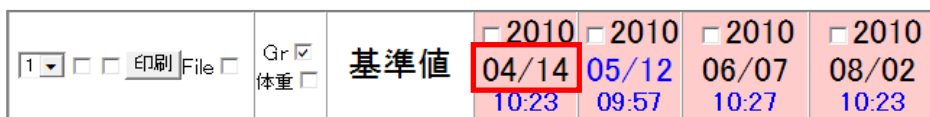
(60) (b) ダイナ血圧出力後の表示セット set1 ダイナ血圧出力を当該患者のみとする on

上記設定で、ダイナミクスリンクバーの[**血圧1**]ボタンあるいはカルテ画面の[**血圧**]ボタンをクリックすると、血圧データが出力された後、血圧のグラフが表示されます。

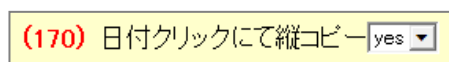
(注) 個人の血圧出力では、出力忘れが発生しますので、週に2回程度リンクバーの[**血圧7**]をクリックし、一週間分の血圧データを一括で読み込ませてください。



⑤ RS_Baseの血液データをダイナミクスに転記します。(他の電子カルテと共通)
血液データテーブルの日付をクリックすると、その日の血液データを縦書き、横書き、異常値のみとコピーする画面になります。

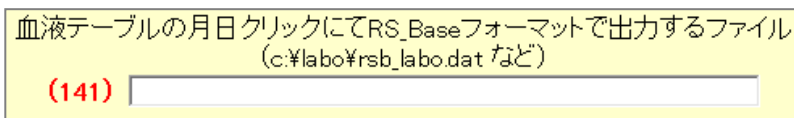


画面を表示した時の初期コピー状態は、[(170) 日付クリックにて縦コピー]で指定します。

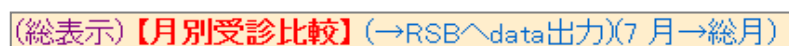
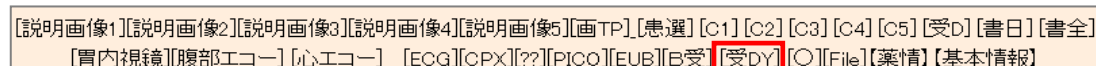


ダイナミクスへのペーストは、ダイナミクスの所見の下書きへ行います。

なお、[(141) 血液テーブルの月日クリックにてRS_Baseフォーマットで出力するファイル]に、ファイルを指定しておく、そのデータをRS_Base用フォーマットでそのファイルに出力し、それをダイナミクスに読み込ませることが可能です。



⑥ 月別収支表示
mdbが立ち上がっている状態で、RS_Baseトップ画面の2行目 [受DY] をクリックし、その日の日報を表示します。さらにその画面の【**月別受診比較**】をクリックすると、月別、年別の診療情報の内容が表示されます。



⑦診療内容検索

RS_Base患者画面の side_show の薬患に薬の名前入力+Enterにて、薬名部分一致にて、投薬患者を検索できます。

(薬)	<input type="text"/>	薬患	<input type="text"/>
-----	----------------------	----	----------------------

⑧薬情

mdbが立ち上がっている状態で、RS_Base2行目の【薬情】をクリックした画面の【drug_all更新】をクリックし、RS_Baseにダイナミクスに登録されている薬の情報を読み込みます。

[説明画像1]	[説明画像2]	[説明画像3]	[説明画像4]	[説明画像5]	[画TP]	[患選]	[c1]	[c2]	[c3]	[c4]	[c5]	[受D]	[書日]	[書全]
[胃内視鏡]	[腹部エコー]	[心エコー]	[ECG]	[CPX]	[PICO]	[EUB]	[B受]	[受DY]	[O]	[File]	[薬情]	[基本情報]		



[drug_all更新]
[ダイナミクス]

ダイナミクスの表紙変更を反映させる方法

- ① ダイナミクスの[S-ID:]をダブルクリックし、データが出力された後、RS_Baseトップ画面表示すると、一括置換されます。

診断書・	紹介状・	指示書・ 意見書	カルテ印 刷	カルテ替 紙印刷 (リ ンク ペー ジャ ー)	院外 処方 設定	S-ID:
全消 去:	表紙修 正:	複数カル テ作成:	番号の 変更 または 一本 化:	前のカ ルテ番 号へ	次のカ ルテ番 号へ	S-注:
					家 族 一 覧	リン ク パ ー FREE

- ② → web受付、BOX受付を立ち上げておくと、30秒以内で自動で入ります。RS_Baseで必要な設定は、[基本情報]→[(60) web受付から新患自動登録]を「on_add」と設定してください。

[説明画像1]	[説明画像2]	[説明画像3]	[説明画像4]	[説明画像5]	[画TP]	[患選]	[c1]	[c2]	[c3]	[c4]	[c5]	[受D]	[書日]	[書全]
[胃内視鏡]	[腹部エコー]	[心エコー]	[ECG]	[CPX]	[PICO]	[EUB]	[B受]	[受DY]	[O]	[File]	[薬情]	[基本情報]		



BOX受付

Web受付

(60) web受付から新患自動登録	on_add ▾
--------------------	----------

Q90 当院検診作成の方法について

① 血液自動読み込み設定方法

[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[○新当院検診設定○]で、[検査センターでの項目名]に、自院の「GOT」、「RBC」などの検査項目を指定してください。（その後ろの、コードや、単位の指定は必要ありません）

→携50 **FAQ** 薬情報 内服 所見 受診カレンダー 来院頻度 年齢分布 受1W 日報 検査集計 血集計

電卓 KeyBoard OTHEO 不整脈 伝染病 辞書 添付文書 医学URL 妊婦と薬 サプリ 心電図 めまい

Top ←B N→ ←No NTHI予防 ID 一覧 登録情報 血液 検索 入力 **血List**

【血液各種設定 Click Here】【血液集計】【GFR-CCr 相関】

位置 X:0 Y:0 Size X:1280 Y:1572 決_定 閉じる

血液検索 院内血液入力 血液読込 院内検査項目登録 グラフセット登録 グラフ小数点 血液総出力

○読込詳細設定○ 項目同一設定 表示順設定 背景色設定 印刷時非表示 常時表示検査 項目リスト更新 基本情報

自動選択(T) (0) (1) (2) (3) (4) (5) (6) (7) (8) ○点の設定 相対値 基準値 検査画面院内入力 検索規定値設定 血液単位

採血日確認項目 完全非表示血液 印刷時非表示 表示順指定 チャート項目 ○新当院検診設定○ 【デモカラー】

【後ろに表示する検査】 【Second血液読込】

検診の項目名を決定します。

★新健診の設定内容です★

脂質検査項目は固定です。(LDLを計算で出すため)
【タイトル変更】【検査セットホルダ】

項目名例(男性)	項目名入力(男性)	項目名入力(女性)	検査センターでの項目名	並び順	特健コード
固定) コリスチロール(130-220)	コレステロール(130-220)	(女) コリスチロール(130-220)	自院項目名 総コレステロール	並順1	特健コード
固定) HDL-CHOL(40-90)	HDL-CHOL(41-86)	(女) HDL-CHOL(41-96)	自院項目名 HDL-コレステロール	並順2	特健コード3F070000002327101
固定) 中性脂肪(40-150)	中性脂肪(40-149)	(女) 中性脂肪(40-149)	自院項目名 中性脂肪	並順3	特健コード3F015000002327101
固定) LDL(140以下)	LDL(140以下)	(女) LDL(140以下)	自院項目名	並順4	特健コード3F077000002327101
例) GOT(8-40)	GOT(8-40)	(女) GOT(8-40)	自院項目名 GOT(AST)	並順5	特健コード3B035000002327201

(注) 血液読み込みは、当日のものになりますが、それ以外の日付のデータを読み込む場合は、当院検診入力画面の医療機関情報の下にある、血液データの日付にチェックを入れて、決定後、再度入力画面を開いてください。

山田 太郎 総括ヤマト タウ(55)[男] *島*広*市*伯*崎*台*- *6*1* (指示) ☆ 08/09/20

Allkey 個 紹介状 各種書類 【血入】(Dsm) (Rsm) 血液 10/08/02 【家族】 診断 (成長)

削 変更 小画 検査SORT 時SORT Ksort よみ Filing 再入力 診入 診断(検索) 診断2 再

48 検診 当院検診 計 12/07/11 999 ★ 山田 55 男 13M

Tel:08x-111-11111 Fax:08x-111-22222 Mail:rsc@k.net

(紹介元)病院名:○○クリニック 郵便番号:732-00XX

住所:広島市東区牛田南 主治医:山下郡司

2010/10/07 2010/10/01 2010/09/15 2010/09/02 2010/08/26 2010/08/10

決_定

(注) 検査項目名が自院のものがほとんど出てこない場合は、[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→ [項目リスト更新]をクリックしてください。

② 当院検診に表示させる、胸部写真の検査名を指定します。

[(202) 当院検診で表示する検査名(初期値: 胸部写真)]で、ファイリングしている胸部写真の検査名を指定します。

(202) 当院検診で表示する検査名(初期値: 胸部写真) 胸部写真 : 胸部写真DICOM検査名

③ 実際の当院検診の作成

検診を行った患者さんの[ID]、[当院検診]という検査名で、検査を登録します。登録された検査の日付をクリックすると、データの入力画面になり、血圧、体重などの入力が可能です。

(検) (b) (a) ID 999 当院検診 登録 2012/07/11



山田 太郎 総括ヤマト タロウ(55)[男] *島*庄*市*伯*郷*台*-*6*1* (指示) ☆ 08/09/20

Allkey	個	紹介状	各種書類	【血入】(Dsm)(Rsm)		血液 10/08/02	【家族】	診断	(成長)
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ	Filing	札	診入
<input type="checkbox"/>	48	検診	当院検診	12/07/11	999	★	山田	55	男
									13M



会社名	病歴	自覚症状	診察所見
	特記すべきことなし	なし	異常なし
血圧上・下		身長(cm)	体重(kg)
	165.5		
腹囲		体脂肪率	標準体重 kg / 肥満度 % / BMI
糖尿薬 脂質薬 血圧薬 喫煙			
視力右・矯正		視力左・矯正	
聴力右・左(1000)		聴力右・左(4000)	
正常		正常	
心電図	異常なし	胸部写真	異常なし
尿糖	尿蛋白	尿潜血	尿Uro
比重	PH		
食後	GOT(8-40)	GPT(4-45)	γ-GTP(0-70)
コレステロール(130-220)	HDL-C(41-86)	中性脂肪(40-149)	LDL(140以下)
血糖(65-110)	HbA1C(4.3-5.8)	赤血球(430-570)	Hct比(13.5-16)
白血球(3500-9000)	血小板(10-36)	血沈(1hr)(15以下)	
意見(血液)(画像) 前回転記		労働可 (胸写)(心電図) 備考	
異常なし		前所見【RSB所見】【まとめ】	
		肝障害、中性脂肪、尿酸が高め	
決定			

血液データは、①の指定が正しければ血液データをRS_Baseに読み込んだ後、再度、日付をクリックして当院検診入力画面を開くと自動で読み込まれます。一度読み込まれたデータは、手修正をしても再度読み込まれることはありませんが、入力画面のGOTのカラムを削除し決定後、再度入力画面を開くと、血液データをすべて読み直します。

④ 医師の意見が記載されますと、登録された当院検診の背景色が変わります。

⑤ レポートの表示

当院検診の検査名の部分をクリックすると、レポートが表示されます。

[ID]をクリックすると、胸部写真が非表示となります。

診断部分の(済)をクリックすると、今回分のみのレポート表示になります。

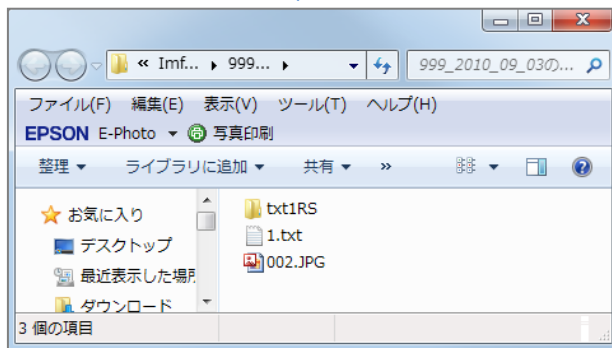
削	変更	小画	Web表示	画像ソフト	PhED	患者表示	Filing	ホリダ	診入	診断(↓検索)	診断2	Dy換
<input type="checkbox"/>	47	検診	当院検診	診 12/07/11	999	ヤマダ タロウ	山田 太郎	55	男		(済)	当

(注) 胸部写真は、当院検診と同じ日のものが表示されますが、他の日のものは入力画面上部の、(胸部レントゲンの日付)で指定した画像が表示されます。

日付: 2012年07月11日 (胸部レントゲンの日付) 2012年07月11日
 ID(999)_名前: 山田 太郎 誕生日: 1956/12/14 年齢: 55 性別: 男性

また、表示される画像は、胸部写真の検査のファイリングフォルダ内の[txt1RS]フォルダ下にある、[small.jpg]になりますので、それが作成されていないと表示されません。

山田 太郎 総括ヤマダ タロウ(55)[男] *島*広*市*伯*観*台*-*5*1* (指示) ☆ 08/09/20												
Allkey	個	紹介状	各種書類	【血入】(Dem) (Rsm)			血液	10/08/02	【家族】	診断	(成長)	
削	変更	小画	検査SORT	時SORT	Ksort	よみ	Filing	ホリダ	診入	診断(検索)	診断2	再
<input type="checkbox"/>	48	検診	当院検診	診 12/07/11	999	★	山田	55	男			13M



(注) 上記で、検診のレポートがおかしくなる場合は、http://rsbase.net/sample/kensin_kensa_new.zip をダウンロードし解凍すると[kensin_kensa_new]というフォルダができますので、フォルダ内の [kensin_kensa_new.dat] をサーバーの[public_html¥kensin_kensa_new.dat]として上書きした後、血液などを再設定してください。

① [CR]、[CT]などの自院で発生するレントゲンの取り込みについて

通常は[RS_Base]サーバーで[RS_Reicever]を立ち上げ、CRの機器と接続設定を行います。
(CR側の設定はメーカー側で行います。また購入時に、Dicom通信のオプションがないと、接続に10-50万円程度の費用が発生する可能性があります。)

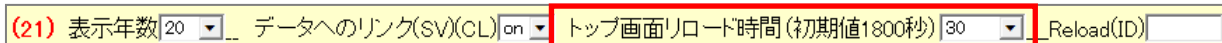
■RS_Reicever取扱説明書

http://rsbase.net/manual2/RS_Receiver.pdf

■RS_Receiverの入手(税込52500円)

<http://rsbase.net/RSR/rsn.cgi> (入手)

設定が正しく行われた場合、[RS_Reicever]より、[jpg]や[dicom]の画像がそれぞれ出力されるので、RS_Auto(巡回自動ファイリング)またはサーバーでRS_Baseを起動しておき、[基本情報]→[(21)トップ画面リロード時間(初期値1800秒)]を「30秒」程度と設定し、RS_Baseの自動リロードによりファイリングします。



■RS_Auto(巡回自動ファイリング)

http://rsbase.net/KW/RS_Auto/RS_Auto_Ver144.zip (Ver1.44)

自動読み込みファイル、血液ファイル、心電図、日立エコーなどを自動読込

② 超音波(Dicom)

Dicomでのやり取りを行う場合は、上記、レントゲンからのファイリングと同じです。

ただし、①と同様にDicom通信のオプションを購入していないと、Dicom optionに20-30万円程度の費用が発生する可能性があります。

③ 超音波 & 内視鏡のファイリング(非Dicom メディア経由)

機器によって取込方法が違いますので、使用機器、保存メディア、保存メディア内にどのようなフォルダ、ファイル名で保存しているかをご記載いただいております。

④ 他院の[CT]、[MRI]を読み込む場合

同梱されているマニュアルを参照し、読み込みを行ってください。

■他院からのDICOM CD検索 & ファイリングソフト

http://rsbase.net/KW/RS_Dicom/RS_Dicom_Ver100.zip

⑤ 院内血液データ:RS_Commについて

末梢血、CRP、生化学、肺機能、オージオ、ティンパノ、レフケラなどRS232C経由でのファイリングは、232C-LAN変換ケーブルで行うことが多いようです。

■RS-232C通信RS_Base連携プログラム(RS_Comm)

http://rsbase.net/KW/RS_Comm/RS_Comm_Ver482.zip (Ver4.82)

■RS_Comm取扱説明書

http://rsbase.net/KW/RS_Comm/RS_Comm_Manual.zip (2010/07/29 UP)

※ユーザー名、パスワードは、RS_Baseメーリングリスト★各種リンク★をご確認ください。

① RS_Baseのバックアップについて

RS_Baseのデータは、RS_Baseサーバーの[Users¥rsn¥public_html (ユーザー¥rsn¥public_html)]にありますので、このフォルダを、サーバーの外付HDあるいは、他のパソコンのHDに[Users¥rsn¥public_html]としてバックアップしてください。

RS_Baseはファイルが巨大となりますので、更新されたファイルのみをバックアップするために、<http://www.takenet.or.jp/~ryuuji/realsync/> などをご利用ください。

なお、RS_Baseを使用中のクライアントのパソコンにバックアップする場合は、使用中のRS_Baseより、後ろのドライブターのHDにバックアップを行ってください。

サーバーがおかしくなった場合、バックアップをどのように運用するかをあらかじめ考えておく必要があると思います。

② RS_Baseのバージョンアップについて

RS_Baseメーリングリストでバージョンアップのアナウンスを行っています。ダウンロードの際に必要なユーザー名、パスワードもメーリングリストでご確認ください。

<http://rsbase.net/version/2012rs/ver120711.zip> (3.7MB)

■RS_Base (Full)バージョン

ver120330 以前からのバージョンアップの場合は下記にて行ってください。

<http://rsbase.net/version/2012rs/ver120711T.zip> (27MB)

バージョンアップ方法

上記をロードして、解凍すると下記のようになります。

<http://rsbase.net/sample/version.png> (Tバージョンの場合)

これらのファイル群を、RS_Baseをインストールされた、[Users¥rsn¥publi_html] に上書きすると、“上書きしますか？” のメッセージが出ますので、そのまま上書きするとバージョンアップが完了します。

※バージョンアップの確認は、RS_Baseの初期画面の下部に下記のように表示されます。

RS_Base ver20120711 Script(C) written by G. Y.

③ バージョンアップ以外のファイル【添付文章の表示が必要であれば】

薬の添付文章のファイル (2012-06-22)

http://rsbase.net/version/H23/drug_information.zip (63MB !!)

ダウンロードして、解凍すると[drug_information]というフォルダになりますので、サーバーの[public_html¥drug_information]としてください。

Q93 二つの臨床検査センターからのデータを読み込む方法

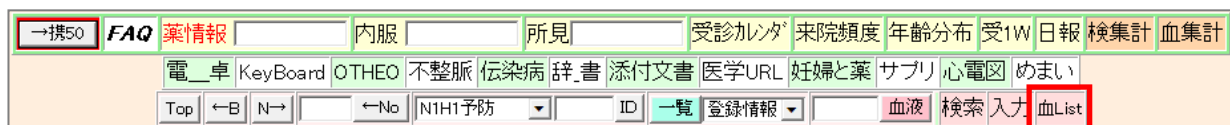
二つの臨床検査センターへのデータ提出はできるだけさけた方が無難ですが、どうしても避けられない場合。

二つの検査会社の血液データ項目のコードが重複しなければ、データとしては正常に取り込まれますが、取り込まれたコードが異なるので、そのデータは異なる時系列で読み込まれ、その表示も、検査名が異なるため両者のデータは異なる時系列で表示されます。

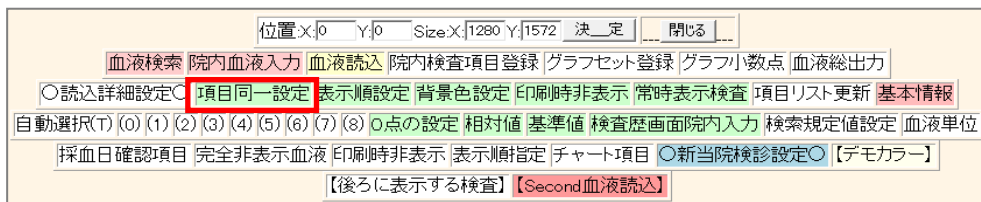
表示の順番もコード順になりますので、どのように表示されるかは検査会社のコード次第です。
(コード体系が完全に異なると、上部に一つの会社、下部にもう一つの会社のデータが表示されますが、2社の項目が混ざった順番で表示される場合もあります。)

複数の検査会社からのデータで、同じ検査を一つの時系列で表示するには、その検査の数分だけ検査名を下記の方法で指定する必要があります。

[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[項目同一設定]の[検査名を変更する(検査→検査、コード→検査)]の部分で、左に変更前の項目名、右側に変更後の項目名を指定してください。



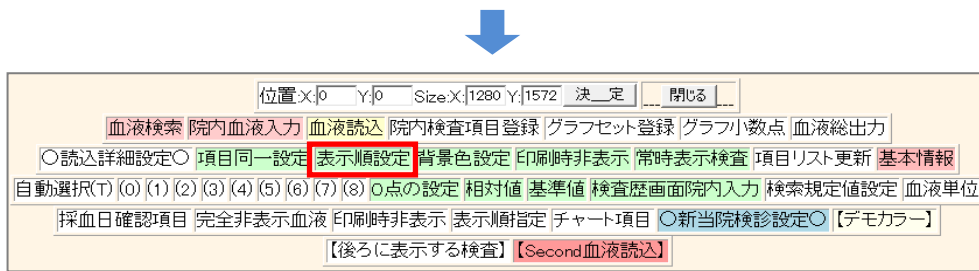
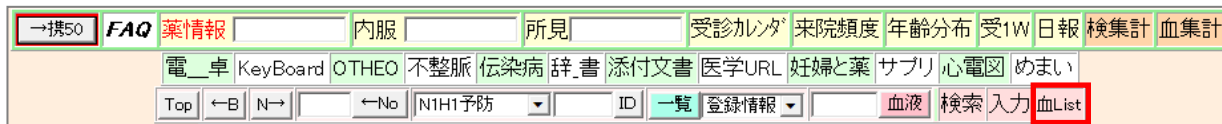
【血液各種設定 Click Here】【血液集計】【GFR-CCr 相関】



検査名を変更する(検査→検査、コード→検査)	
血糖(2h)	→ 血糖(120分)
血糖(3h)	→ 血糖(180分)
血糖(30min)	→ 血糖(30分)

また表示順も相応の検査数分を下記の方法で指定する必要があります。
 (指定していない検査は、下部に表示されますので、まれな検査の指定は必須ではありません。)

[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[表示順指定]で指定をしてください。
 選択では面倒な場合は、本画面の【設定ファイルを開く】でファイルが開きますので、直接テキストファイルに
 順番をご指定ください。



※上記を設定しても、実際は一つの検査会社でも抗体系の結果はすべて[抗体]という検査名のところ
 が多いため(おそらく何百個の検査があります)、その場合はRS_Baseでは検査名で表示順を指定しま
 すので、それらを正しい順番で指定するには、[FAQ51]の方法で、検査コードを指定して[抗体]という
 検査名を、[風疹IgG抗体]などと変更してから、順番を指定する必要があります。
 (指定は、医療機関で提出する抗体等の検査を全て指定してください。)

血液データを読み込むコードの設定に関して

検査会社からのデータの最後に会社の略語(bml srl fml など)があれば、RS_Baseの血液読み込みの詳細設定[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→【○読込詳細設定○】の、会社名ON(RS_Base)のカラムに、「RS_Base」と記載すれば、コードにその略語も付加されますので、二つの検査会社でコードが重複していても、実際はコードは重複しなくなりますので、両社のデータが間違った形で読み込まれることはありません。

【血液各種設定 Click Here】【血液集計】【GFR-CCr 相関】

会社名ON(RS_Base)	RS_Base
データ内の会社名より優先させる会社名(英数字)	現在未使用
検査コードなし(背景色)	白色
会社名1(背景色)	
会社名2(背景色)	
会社名3(背景色)	
読み込まない会社名	
読み込まない会社名	
読み込み先ファイル	
取込み検査フォーマットの決定	

※血液読み込み設定の、会社名ON(RS_Base)の部分途中から変更すると、検査コードに略号が付加され、以後、同じ会社のデータでも、異なる時系列で読み込まれますので、途中から指定を変更する場合は、それまで略号を読ませていない検査会社の略号は、【○読込詳細設定○】の[読み込まない会社名]のところに、その略号を指定する必要があります。

(注) 2社の臨床検査センターの検査コード体系が異なれば、会社の略号の読み込みは、特に指定する必要はありません。

Q94 血液データを異なる系列のデータとして保存する方法

血液のデータは、[public_html¥labo] 内に保存され、血液データを読み込む方法は、

【読込】: URLは、[http://localhost/~rsn/labo_new1.cgi]ですが、

読み込むときのURLを[http://localhost/~rsn/labo_new1.cgi?labo_pre]にすると、データの保存先フォルダは、[public_html¥labo_pre]となり、そのデータは、血液単独画面の通常の血液データテーブルの下に異なるテーブルとして表示されます(患者画面では表示されません)。

※データを保存しておきたいが、通常の血液データとは一緒に系列としては保存したくない場合などに利用します。

Q95 RS_Base用カスタマイズmdbの変更点について (2012年時)

① スタート画面の開くときのイベントに下記を追加

```
DoCmd.OpenModule "Dyna_to RS_Base"  
Application.VBE.MainWindow.Visible = False
```

② Dyna_to RS_Base モジュール差し替え: RS_Baseとの連携用

③ Q_RS_jusin クエリ差し替え: 保険種類、本人家族のカラムを追加

④ Q_患者マスターRS 差し替え

⑤ Q_血圧1day(RS) Q_血圧7day(RS) 差し替え

⑥ モジュールの参照設定でMicrosoft Internet Controls を追加

⑦ リンクバーにRS_Base用ボタンを追加

⑧ 患者マスターフォームに、RS_Base系のボタン追加

⑨ 患者マスターフォームに、タイマー時の設定を追加

```
タイマー時: =RSB_TXT()  
タイマー間隔: 1000
```

⑩ ダイナミクス、初期設定 内の、[RS_Base Send ID] にチェック

⑪ Tバージョンは、ダイナミクスの所見、診療内容の表示時に、[public_html¥ID.dat]にID番号を書き込むように、スクリプト追加

サーバーIPで接続すると、jpg、PDF、血液は表示されますが、心電図やDicom Viewerは表示されないため、下記の設定が必要となります。

- ① Cドライブの中に「RSBASE」というフォルダを作成し、フル共有にします。

【 フル共有にする方法 】

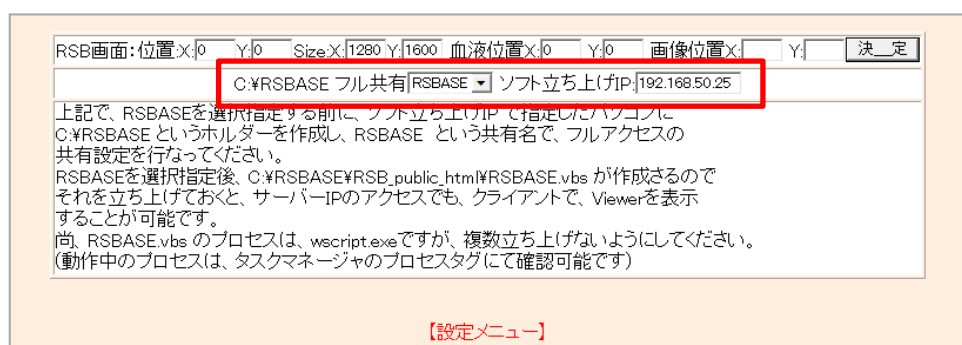
「RSBASE」のフォルダを右クリックし、

[プロパティ]→[セキュリティタブ]→[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧の「Everyone」を選択→[編集]でフルコントロールにチェックを入れてください。

チェックを入れた後は、[フルコントロール]、[変更]、[書き込み]などにチェックが入ります。

「Everone」が[グループ名またはユーザ名(G)]の一覧にない場合には、[編集]をクリックした画面の[追加ボタン]にて「Everyone」を作成してください。

- ② RS_BaseのTOP画面の下側にある[C:¥RSBASEフル共有]に「RSBASE」を選択してください。
[ソフト立ち上げIP]は自身のIPアドレスが自動的に表示されます。



- ③ IPでRS_Baseを起動するとCドライブのRSBASEフォルダにファイルが作成されます。
(サーバ側からクライアントのC:¥RSBASEが参照・書込可能である必要があります)
- ④ ③のファイルの中の「RSBASE.vbs」を常時起動します。



※[スタート]→[すべてのプログラム]→[スタートアップ]を右clickし、「RSBASE.vbs」をコピーし、貼り付けを行うと、パソコン起動時に自動的に起動します。

これでサーバIP接続でもクライアントで心電図やDicom Viewerも表示されます。

Q97

RS_Baseとダイナミクスを使用していると、ダイナミクスに連動して、RS_Baseの画面が変わるときに、ダイナミクスからRS_Baseにカーソルが移動（とられる）することがあります。

【 対応 】

下記の基本情報の一方、あるいは両方の指定を変更してください。

(34) 電子カルテ連携: 患者画面を前面に(既定値:Yes)

(40) ファイリングソート順 患者画面でカーソルをIDに移動

Q98 成長曲線の表示方法について

RS_Baseの設定は、下記の基本情報を設定すると、患者画面の診断ボタンの右横に(成長)と表示されます。

〈基本情報〉

(155) 患者検査歴の下に血液データを表示

(281) D-BOXとの連携 (RSB_ImportRequest),成長曲線(data)の作成

〈患者画面〉

山田 太郎 総括ヤマダ タロウ(56) 東区 (指示) ☆★														
Allkey	個	KyD	紹介状	各種書類	【血入】(Dsm) (Rsm)	血液	10/08/02	【家族】	診断	(成長)				
削	変更	小画	SORT 指D1	SORT 指D2	Ksort	よみ	Filing	机*	診入	診断(検索)	診断2	診	診	再
<input type="checkbox"/>	39		超音波	診 10/10/01	999	★	山田	53	男	脂肪肝				13M

動作には、java のインストールが必要です。

体重を複数の検査名で登録されている場合は、[血LIST]→【血液各種設定 Click Here】→[項目同一設定]で、検査名を同じにそろえておいてください。

(注)
全情報表示画面の場合は、(281) の設定にかかわらず、患者画面に血液データが表示されないので、(155) 血液データの上に血圧、体重表示にて、“患者・血液データ” あるいは、“患者画面” を指定する必要があります。

(155) 患者検査歴の下に血液データを表示 血液データの上に血圧、体重表示 【項目指定】